B6FY-2931-01

取扱説明書

ヘッドマウントディスプレイ

（FHMD001）

FUJITSU

目次

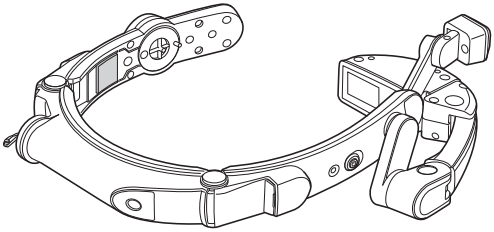
製品を確認してください 4
お使いになる前に 6
本書の表記 8
本書の記号 8
製品の呼び方 8
画面例およびイラストについて 8
キーの表記と操作方法 8
連続する操作の表記方法 8
警告ラベル、注意ラベル 8
警告表示について 8
商標および著作権 9
安全上のご注意 9
使用上のご注意 13
取り扱い上の注意 13
無線 LAN/Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて 13
防水／防塵性能に関する注意事項 14
1 各部名称 17
ヘッドマウントディスプレイ 17
キーボード 19
2 組み立てる 21
バッテリーパックを充電する 21
バッテリーパックをセットする 23
本製品の装着する向きを決める 25
使用スタイル 25
フィッティングベルトを組み立てる 26
ヘッドマウントディスプレイを頭部に装着／調整する 29
ヘルメットに取り付ける 31
キーボードを取り付ける 33
3 初期設定 36
位置／見え方を調整する 36
「HMD ホーム」画面を起動する 37
ディスプレイを見る目を設定する 38
ペアリング（接続） 39
4 使い方 44
起動する 44
音量／明るさの設定 45
音声入力の用語一覧 47
Android ホーム画面 49

ディスプレイを退避する 49
キーボードの Bluetooth ／電源ランプ 50
microSD カード 50
microUSB ケーブルを接続する 51
5 トラブルシューティング 53
よくあるトラブルと解決方法 53
ハードウェアに関する Q & A 54
通信に関する Q & A 55
その他の Q & A 55
お手入れ 56
廃棄について 56
6 付録 57
ディスプレイの可動領域 57
カメラの可動領域 57
仕様一覧 58
オープンソースソフトウェア 59

製品を確認してください

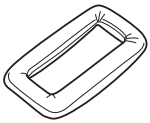
梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一、足りないものがあった場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

■ヘッドマウントディスプレイ



□ヘッドマウントディスプレイ本体
（バッテリーキャップにストラップが付いています）

□ microUSB ケーブル
□モノラルイヤホン
□保証書
□取扱説明書（本書）

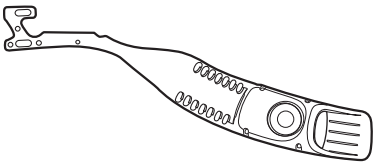


□ディスプレイクッション ×1

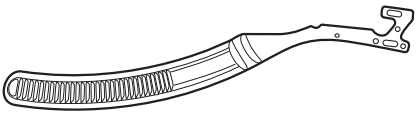
□ローレットネジ ×4
（ドライバー、コインなどで回します）

■フィッティングベルト

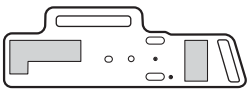
ヘッドマウントディスプレイを頭部に装着するときに使用します。



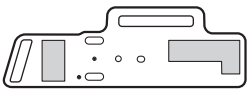
□ヘッドアジャスター L



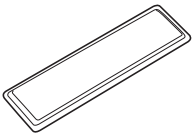
□ヘッドアジャスター R



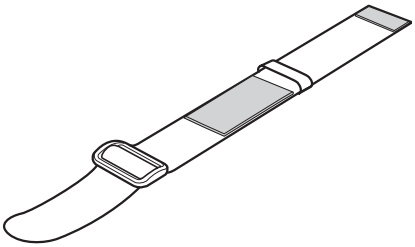
□ベルトアタッチメント L



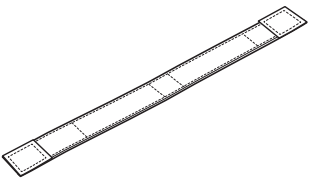
□ベルトアタッチメント R



□サイドクッション ×2



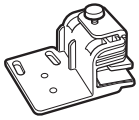
□トップバンド



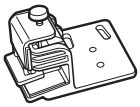
□フロントバンド

■ ヘルメット装着クリップ

ヘッドマウントディスプレイをヘルメットに取り付けるときに使用します。

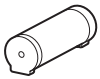


□ヘルメット装着クリップ L



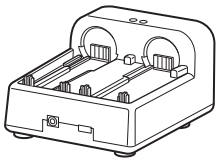
□ヘルメット装着クリップ R

■ バッテリーパック

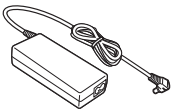


□バッテリーパック ×1

■ バッテリーチャージャー



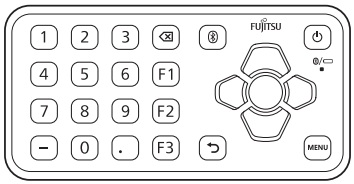
□バッテリーチャージャー ×1



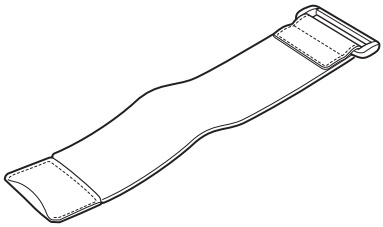
□ AC アダプタ

□電源ケーブル

■ ウェアラブルキーボード



□ウェアラブルキーボード



□ウェアラブルキーボードベルト

□単 4 形
アルカリ乾電池 ×2

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計･製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.9）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

消耗品について

- バッテリーパックや乾電池などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は保証期間の内外を問わず、お客様ご自身の新品購入ならび交換となります。
- 一般的にバッテリーパックは、300 ～ 500 回の充放電で寿命になります（温度条件や使用環境によって異なります）。

電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている AC アダプタの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストールされているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されているマニュアルを含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた本製品とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。
3. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
4. 保証の範囲
   (1) 弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   (2) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
5. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計･製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

   記

   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

   富士通株式会社

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

無線 LAN について （IEEE802.11a 準拠、IEEE802.11b 準拠、 IEEE802.11g 準拠、IEEE802.11n 準拠）

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

  （1） 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2） 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

- 本製品は日本国内の技術基準認定を取得しています。一部の国、地域では無線 LAN 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国、地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

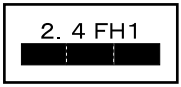
5GHz 帯のチャンネルについて

本製品の無線 LAN 機能は 5GHz 帯を使用できます。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されております。本製品が使用するチャンネルは次のとおりです。

- W52（5.2GHz 帯／ 36,38,40,42,44,46,48ch）
- W53（5.3GHz 帯／ 52,54,56,58,60,62,64ch）
- W56（5.6GHz 帯／ 100,102,104,106,108,110,112, 116,118,120,122,124,126,128,132,134,136, 140ch）

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を構ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて



- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

  （1） 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2） 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

- 本製品は日本国内の技術基準認定を取得しています。一部の国、地域では Bluetooth 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国、地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品のご利用について

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- バッテリーパックの残量が 0%になると、日時の設定がリセットされます。日時の設定がリセットされた場合は、「HMD ホーム」画面で「設定」→「その他の設定」→「日付と時刻」で日時を設定してください。
  また、本製品とスマートフォンを Miracast で接続すると、本製品のシステム時刻は、スマートフォンで設定されている時刻に同期されます。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。
  改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本製品の設定画面 / 端末情報に表示されております。本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

本書の表記

本書の記号

本書に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

製品の呼び方

本書では、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本書の表記
ヘッドマウントディスプレイ	本製品、本体
スマートフォン／タブレット	スマートフォン
ウェアラブルキーボード	キーボード
モノラルイヤホン	イヤホン
microUSB ケーブル、電源ケーブル	ケーブル
microUSB コネクタキャップ、視度調整用キャップ、microSD カードスロットキャップ、バッテリーキャップ、イヤホン接続端子キャップ	キャップ
Android™	Android
Bluetooth®	Bluetooth

画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略したり形状を簡略化したりしていることがあります。

キーの表記と操作方法

本書中のキーの表記は、キーボードに書かれているマークを記述するのではなく、説明に必要な文字を使い、次のように記述しています。

例：【BackSpace】キー、【Bluetooth】キー、【電源】キーなど

連続する操作の表記方法

本書中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：Android のホーム画面で、「設定」をタップし、「日付と時刻」をタップする操作

↓

「設定」→「日付と時刻」の順にタップします。

警告ラベル、 注意ラベル

本製品には、警告・注意ラベルが貼ってあります。これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

商標および著作権

Google、Google ロゴ、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、富士通へライセンスされています。
microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2015

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■本体、キーボード、バッテリーチャージャー、ACアダプタ、バッテリーパック共通

⚠ 危険

必ず指定の周辺機器をご使用ください。
発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

外部接続端子、イヤホン端子、および充電端子をショートさせないでください。また、外部接続端子、イヤホン端子、および充電端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災や故障の原因となる場合があります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する可能性のある場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火するおそれがあります。

くぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏み付けたりしないでください。
発火・破損・けがなどの原因となります。

⚠ 警告

本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。

本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、速やかに本製品の装着を外し、電源を切ってください。バッテリーチャージャーやACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切ってください。ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本製品を落としたり、カバーなどを破損したりした場合は、本製品の電源を切り、修理をしてください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、速やかに本製品の装着を外してください。ACアダプタの場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外してください。
落雷による感電、火災の原因となります。また、本製品が故障するおそれがあります。

各スロットなどの開口部から、本製品の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。
感電・火災の原因となります。

自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全な所に止めてからお使いください。

使用中の本製品は、ふとんなどをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に放置しないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

添付もしくは指定された以外のACアダプタやケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタやケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

本製品は防水性能を有する機種ですが、万が一、水などの液体が、キャップや電池カバーなどから本体に入った場合には、ご使用をおやめください。
そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

本体が濡れている状態でバッテリーパックの交換を行ったり、イヤホンなどのケーブル類を差したりしないでください。
感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。

落下などによって破損し、本体の内部が露出した場合は、露出部に手を触れないでください。
感電したり、破損部分でけがをしたりすることがあります。

⚠ 注意

本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となることがあります。

本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内など、温度が高くなる所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が落ちて、けがの原因となります。

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品はリチウムイオン電池を使用しております。キーボードは乾電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投じられると破裂のおそれがあります。

■本体

⚠ 注意

ディスプレイクッションが破損などで確実に取り付けられない場合は使用しないでください。
転倒や衝突によるけがの原因になります。

キャッシュカード、フロッピーディスク、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけないでください。
記録内容が消失する場合があります。

皮膚に異常を感じたときはただちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
長時間使用した場合やお客様の体質、体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿しんなどを生じる場合があります。本製品で使用している部品の材質については、「材質一覧」（→ P.12）をご覧ください。

通常はキャップや電池カバーを閉めた状態で使用してください。
キャップや電池カバーを閉めずに使用すると、ほこり、水などが入り故障の原因となります。

砂浜などの上に直接置かないでください。
スピーカー、マイクなどに砂などが入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■イヤホン

⚠ 注意

イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

長時間音量を大きくして聞かないでください。
難聴の原因となります。

■無線

⚠ 警告

無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの注意
次の場所では、本製品の電源を切るなどして、無線通信機能を停止してください。
無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。
- 病院内や医療用電子機器のある場所
  特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- 身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所

■バッテリーパック

本製品のバッテリーパックはリチウムイオン電池です。バッテリーパックは、ご購入時、充分に充電されておりません。充電してからお使いください。

Li-ion 20

⚠ 危険

バッテリーパックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

持ち運ぶときや保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接はんだ付けをしたりしないでください。
バッテリーパック内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

バッテリーパックは防水性能を有しておりません。
バッテリーパックに水、海水などの液体が入ると発熱・破損・発火・感電・故障の原因となります。濡れたバッテリーパックは充電しないでください。

液もれして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますのでただちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗った後ただちに医師の診療を受けてください。
本製品に付着した場合は、液に直接触れずに拭き取ってください。

落としたり、踏み付けたり、破損や液もれしたバッテリーパックを使用しないでください。液もれや異臭がするときはただちに火気から遠ざけてください。
もれた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

バッテリーパックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。
誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部分を充分に確認ください。

バッテリーパックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。
発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

所定の充電時間を超えてもバッテリーパックの充電が完了しない場合は、充電をおやめください。
漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠警告

バッテリーパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。バッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投じられると破裂のおそれがあります。

■バッテリーチャージャー、AC アダプタ、ケーブル

⚠警告

指定以外の電源電圧では使用しないでください。
・バッテリーチャージャー
DC-IN コネクタ：DC12V
microUSB コネクタ：DC5V
・AC アダプタ：AC100V ～ 240V
発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。バッテリーパックが傷んでいるときやコンセントの差し込み口が緩いときは使用しないでください。

AC アダプタの電源プラグは、コンセント（AC100V）に直接かつ確実に差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・やけど・火災の原因となります。

コンセントに接続した状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
感電・ショート・火災・傷害・故障の原因となります。

充電中はバッテリーチャージャーの充電端子に、長時間触れないでください。
低温やけどになるおそれがあります。

AC アダプタやケーブルを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平にまっすぐ抜き差ししてください。
火災・やけど・けが・感電の原因となります。

AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、ケーブルを引っ張らず、AC アダプタの本体を持って抜いてください。
ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、感電や火災などの原因となります。

濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

ACアダプタにケーブルをきつく巻き付けるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。

AC アダプタをコンセントに接続しているときは、引っかけるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

AC アダプタを落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の基板が壊れることがあります。また、AC アダプタやケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。

AC アダプタや電源プラグはコンセントからときどき抜いて、コンセントとの接続部分および AC アダプタとケーブルの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・やけど・火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。

お手入れのときは、コンセントから必ず AC アダプタの電源プラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

バッテリーチャージャーは防水性能を有しておりません。水、海水など液体がかからない場所で使用してください。
発熱・火災・感電、電子回路のショートによる故障の原因となります。万が一、液体がかかってしまった場合にはただちに電源プラグを抜いてください。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電や故障の原因となります。

長期間使用しないときは、安全のため AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーチャージャーからACアダプタを取り外してください。
火災の原因となることがあります。

AC アダプタやケーブル、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

AC アダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。

ケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災・やけど・感電の原因となります。

ケーブルを傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。
感電・ショート・火災の原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
ヘッドマウントディスプレイ			
	ディスプレイパネル	アクリル合成樹脂	AR コーティング
	ディスプレイクッション	合成皮革	—
	電源ボタン	PC 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	ホームボタン	PC 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	本体ケース部	PC 樹脂+ ABS 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	microUSB コネクタキャップ	PC樹脂+ポリエステル系エラストマ+シリコン樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	microSD カードスロットキャップ	PC樹脂+ポリエステル系エラストマ+シリコン樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	イヤホン接続端子キャップ	PC樹脂+ポリエステル系エラストマ+シリコン樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	視度調整用キャップ	PC樹脂+ポリエステル系エラストマ+シリコン樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	面ファスナー	ナイロン	—
	ネジ	ステンレス鋼	三価クロメート処理
	ラベル	ポリエステル	—
フィッティングベルト			
	ヘッドアジャスターL、ヘッドアジャスター R	ポリエチレン樹脂	—
	ベルトアタッチメント L、ベルトアタッチメント R	ポリプロピレン樹脂	—
	サイドクッション	ポリエステル	—
	トップバンド（止め具）	ポリプロピレン樹脂（POM 樹脂）	—
	フロントバンド	合成ゴム	—
ヘルメット装着クリップ			
	本体	PC 樹脂+ ABS 樹脂	—
	軸および軸止め	ステンレス鋼	—
	ネジ	POM 樹脂+ステンレス鋼	—
	ローレットネジ	ステンレス鋼	—
バッテリーパック			
	本体ケース部	PC 樹脂	—
	端子部	ニッケル	金メッキ
	ラベル	ポリエステル	—
バッテリーチャージャー			
	本体ケース部	PC 樹脂+ ABS 樹脂	—
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
ウェアラブルキーボード			
	本体ケース部	PC 樹脂+ ABS 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
	キー部	ウレタンアクリレート樹脂	UV 硬化処理

使用箇所		材質	表面処理
	ウェアラブルキーボードベルト	スチレン・ブタジエンゴム	—
	microUSB コネクタキャップ	熱可塑性エラストマ	—
	ネジ	スチール	—
	ネジ	ステンレス鋼	三価クロメート処理

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→ P.9）もあわせてご覧ください。

取り扱い上の注意

●本製品は頭部に装着し、可動領域をもった構造となっております。装着した状態で他のロボットアームなどの機械に巻き込まれないよう、距離には充分注意して使用してください。

●本体、キーボード、バッテリーチャージャーの内部に異物（クリップや金属片、シャープペンシルの芯など）を入れないでください。

●本体、キーボード、バッテリーチャージャー、ACアダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。

●本製品のアームを調整し、ディスプレイが目の3cm程度前にくるようにしてください。

●表示された映像の四隅が視認できるようにディスプレイを上下左右に調整してください。

●目の正面にディスプレイを配置すると、片目がディスプレイでふさがります。視界を確保する必要がある場合は、目の下方にディスプレイを退避して使用するか、ディスプレイを見ない際にはアームを横にずらして使用してください。

●歩行やランニング中、または自動車、バイク、自転車などの車両の運転中は、事故の原因となるため使用しないでください。

●体の揺れの激しい環境や不安定な状態では使用しないでください。めまい、吐き気、頭痛、または乗り物酔いの症状を起こすおそれがあります。

●作業中に画面を見る場合は、足元、手元、頭上など周囲の安全に充分配慮し、作業中の事故や転倒・転落、落下物によるけがなどにご注意ください。

●ぶれの大きい映像や点滅の激しい映像、動きの激しい映像などは、めまい、吐き気、頭痛、または乗り物酔いの症状を起こすおそれがあります。

●ディスプレイの輝度と周囲との明暗の差が強い場所で使用すると、目に悪い影響を与えるおそれがあります。

●多数の車両や人が往来する場所、人混み、狭い所では、他の人や障害物に充分注意して使用してください。

●長時間の連続使用は目の疲れの原因になりますのでおやめください。定期的に適度な休憩をおとりください。

●使用直後は疲労により周辺視野が狭まっていることがあるため、休憩をとることをお勧めします。また使用直後に、自動車、バイク、自転車などの車両の運転を行う場合は、周囲に注意し運転してください。

●15 歳以下の方は、視機能の成長に悪い影響を与えるおそれがあるため、使用しないでください。

●閃光や光の点滅によってけいれん、てんかんの発作、意識喪失を起こしたことのある人は、同様の症状を起こすおそれがあるため、使用しないでください。

●体調不良の方は症状悪化の原因となることがあるため、使用しないでください。

●目に疾患や障害がある方は使用しないでください。斜視、弱視、不同視などの症状を悪化させるおそれがあります。

●使用中に体の不調や不快さを感じたときは、すぐに使用を中止し、回復するまで休憩をおとりください。

●通話時のスピーカーからの話し声が周囲に聞こえる場合があります。望ましくない場合は、イヤホンをご使用ください。

無線 LAN/Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて

■ ご使用時におけるセキュリティに関する注意

●無線通信時のセキュリティとして、無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが充分でない場合が考えられます。無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーによるデータ通信を行うときはご注意ください。

●無線 LAN は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定によっては、悪意ある第三者により、通信を傍受されたり、不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することをお勧めします。

●無線 LAN や Bluetooth ワイヤレステクノロジーの通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

防水／防塵性能に関する注意事項

この内容をお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

■防水／防塵性能について

本体には microUSB コネクタキャップ、視度調整用キャップ、microSD カードスロットキャップ、バッテリーキャップ、イヤホン接続端子キャップが、キーボードには microUSB コネクタキャップ、電池カバーがあります。本製品は、すべてのキャップや電池カバーをしっかりと取り付けた状態で IPX5 相当、IPX7 相当の防水性能および IP5X 相当の防塵性能を有しています（当社試験方法による）。

●IPX5 とは、内径 6.3mm のノズルを用いて、約 3m の距離から約 12.5 リットル／分の水を 3 分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、ヘッドマウントディスプレイとしての性能を保つことを意味します。

●IPX7 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1.0m の水槽に本製品を静かに沈め、約 30 分間水底に放置しても、本製品内部に浸水せず、ヘッドマウントディスプレイとしての性能を保つことを意味します。

●IP5X とは、保護度合いを指し、直径 75μm 以下の塵埃（じんあい）が入った装置に本製品を 8 時間入れてかくはんさせ、取り出したときにヘッドマウントディスプレイの機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ご使用にあたっての重要事項

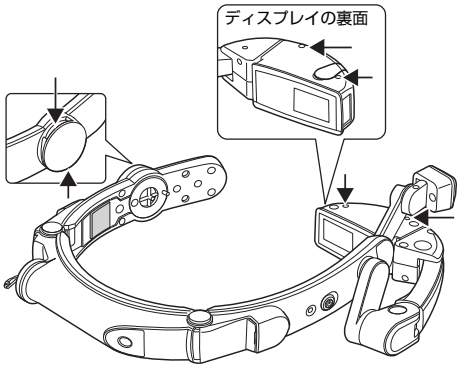
●砂浜などの上に直接置かないでください。マイク、スピーカーなどに砂などが入って、音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入して、発熱や故障の原因となったりします。

●キャップや電池カバーが浮いている箇所がないことを確認しながら確実に閉じてください。

●完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。

●キャップと本体の間または電池カバーとキーボードの間に、微細なゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 個、微細な繊維など）がわずかでもはさまると浸水の原因となります。

●マイク、スピーカーの穴（次の図の矢印部分）に先のとがったものを差し込まないでください。防水膜がやぶれて、浸水の原因となります。



●手や本製品が濡れている状態でのキャップや電池カバーの開閉は絶対にしないでください。

●水中で本製品を使用（ボタン操作を含む）しないでください。

●湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

●本製品の防水性能は、常温（5 ℃～ 35 ℃）の真水・水道水にのみ対応しています。次の例のような液体をかけたり、つけたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。

例：石けん・洗剤などの入った水、海水、プールの水、温泉、熱湯

■快適にお使いいただくために

●水濡れ後は本製品のすき間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特にボタン内の水を抜いてください。

●水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らすおそれがありますのでご注意ください。

●マイクに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。詳しくは、「水抜きについて」（→ P.16）をご覧ください。

●濡れた手で持って操作できますが、水にはつけないでください。

●水中で使用しないでください。故障の原因になります。

●急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かい場所に本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。

●高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。

●周囲温度 5 ℃～ 35 ℃、湿度 20%～ 80%の範囲内で使用してください。

●強い流水（6 リットル／分を超える）をかけないでください。

●落下させたりしないでください。

●炎天下や高温になる場所で使用・放置しないでください。

●やや弱めの水流（6 リットル／分以下、常温（5 ℃～ 35 ℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約 10cm 離れた位置で洗えますが、高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。

●洗うときはキャップや電池カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

●洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

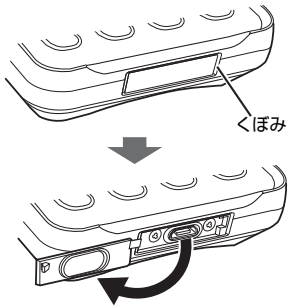
■ 防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

●microSD カードの取り付け、取り外し時には、microSD カードスロットキャップのくぼみに指をかけて開きます。詳しくは、「microSD カードのセット／取り出し」の手順 1（→ P.51）をご覧ください。

●本体やキーボードのmicroUSBコネクタを使用するときには、microUSB コネクタキャップのくぼみに指をかけて開きます。

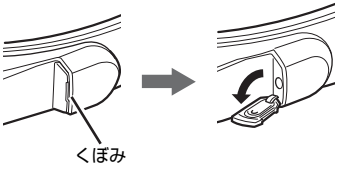
・ 本体の場合
「microUSB ケーブルを接続する」（→ P.51）をご覧ください。
・ キーボードの場合
くぼみに指をかけ、矢印方向に microUSB コネクタキャップを開いてください。



●見え方を調整するときに、視度調整用キャップのくぼみに指をかけて開きます。詳しくは、「位置／見え方を調整する」の手順 3（→ P.36）をご覧ください。

●バッテリーパックの取り付け、取り外し時には、バッテリーキャップを反時計回りに回し開けます。詳しくは、「バッテリーパックをセットする」の手順 1（→ P.23）をご覧ください。

●イヤホンの接続時には、イヤホン接続端子キャップのくぼみに指をかけ、矢印の方向にキャップを開きます。



●キーボードの乾電池を交換するときは、ロックを解除し電池カバーのツメに指をかけて開けます。詳しくは、「キーボードを取り付ける」の手順 1、2（→ P.33）をご覧ください。

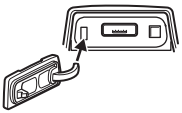
また、使用後は、キャップや電池カバーをしっかりと閉じて押し込みます。キャップや電池カバーをしっかりと押し、浮きがないことを確認してください。

□ 本製品からキャップが抜けた場合

本体にある microUSB コネクタキャップ、視度調整用キャップ、microSD カードスロットキャップ、イヤホン接続端子キャップと、キーボードにある microUSB コネクタキャップは、キャップが引き抜ける構造になっています。

キャップを引き抜いてしまった場合は、元の穴に差し、押し込んでください。

例：microUSB コネクタの場合



□ ゴムパッキンについて

キャップ周囲のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

●はがしたり、傷つけたりしないでください。

●キャップを閉める際はゴムパッキンをかみ込まないよう注意してください。かみ込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。

●常温（5 ℃～ 35 ℃）の真水・水道水以外の液体（温水や海水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。

●キャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、ゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面は微細なゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 個、微細な繊維など）がわずかでもはさまると浸水の原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取って必ず取り除いてください。

●キャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、浸水の原因となります。

●防水／防塵性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無にかかわらず、2 年ごとに交換することをお勧めします（有償）。ゴムパッキンの交換については、お客様自身による交換不可のためご購入元にご連絡ください。

□ 水以外が付着した場合

万が一、水以外（海水、洗剤、砂、泥など）が付着してしまった場合、ただちに水で洗い流してください。

□ 水で濡れた後は

水で濡れた後は、水抜きをし、乾いた清潔な布で本製品の水滴を拭き取ってください。

- コネクタがショートするおそれがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。
- 端子に水滴が付着したまま使用しないでください。
- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。

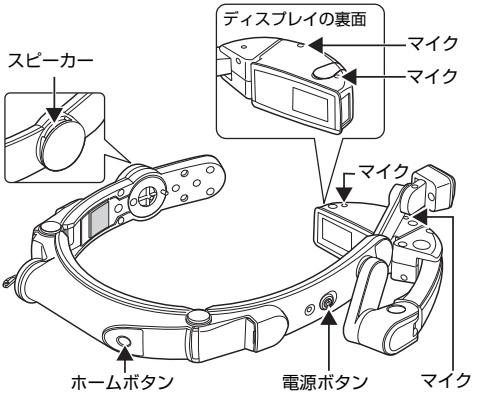
●本製品に水や雪が付いた場合は、清潔な乾いた布で拭き取ってください。拭き取れなかった水やすき間にたまった水で衣服やかばんなどを濡らす場合がありますのでご注意ください。

■ 水抜きについて

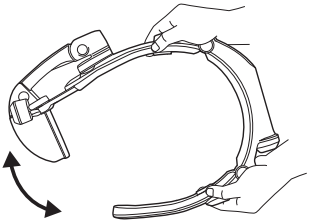
本製品に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
また、ボタン部分などのすき間から水分が入り込んでいる場合がありますので、次の手順で本製品の水分を取り除いてください。

□ 本体の場合

次の図の矢印部分にあるスピーカー、マイク、ホームボタン、電源ボタンに水がたまります。

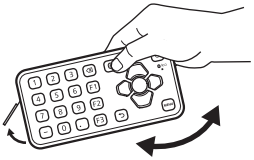


本体を手でしっかりと持ち、水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



□ キーボードの場合

microUSB コネクタに水がたまります。microUSB コネクタキャップを開け、キーボードを手でしっかりと持ち、水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



■ 充電に関する注意事項

バッテリーチャージャーは防水／防塵性能を有していません。充電時および充電後には、次の点を確認してください。

●濡れたままバッテリーパックを充電しないでください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、行ってください。

●濡れた手でバッテリーチャージャーやバッテリーパックに触れないでください。感電の原因となります。

●バッテリーチャージャーやバッテリーパックは、水のかからない状態で使用してください。火災・感電の原因となります。

●バッテリーチャージャーやバッテリーパックは、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

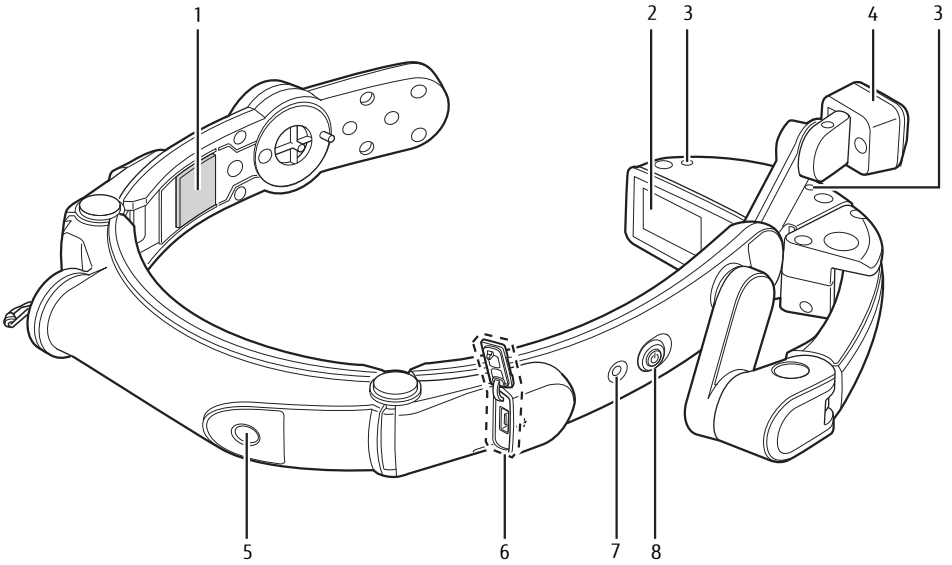
■ ケーブルを接続するときの注意事項

●microUSB コネクタ内に水が付いた状態で microUSB ケーブルを接続しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源ケーブルに水が付いた状態で接続しないでください。火災・感電の原因となります。

1. 各部名称

ヘッドマウントディスプレイ



1 面ファスナー
ベルトアタッチメントに付いている面ファスナーを取り付けます。
2 ディスプレイ
3 マイク
全部で 4ヶ所あります。
4 カメラ
5 ホームボタン
ホーム画面を表示します。
6 microUSB コネクタキャップ、microUSB コネクタ（⇔）
microUSB ケーブルを接続します。接続の方法については、「microUSB ケーブルを接続する」（→ P.51）をご覧ください。

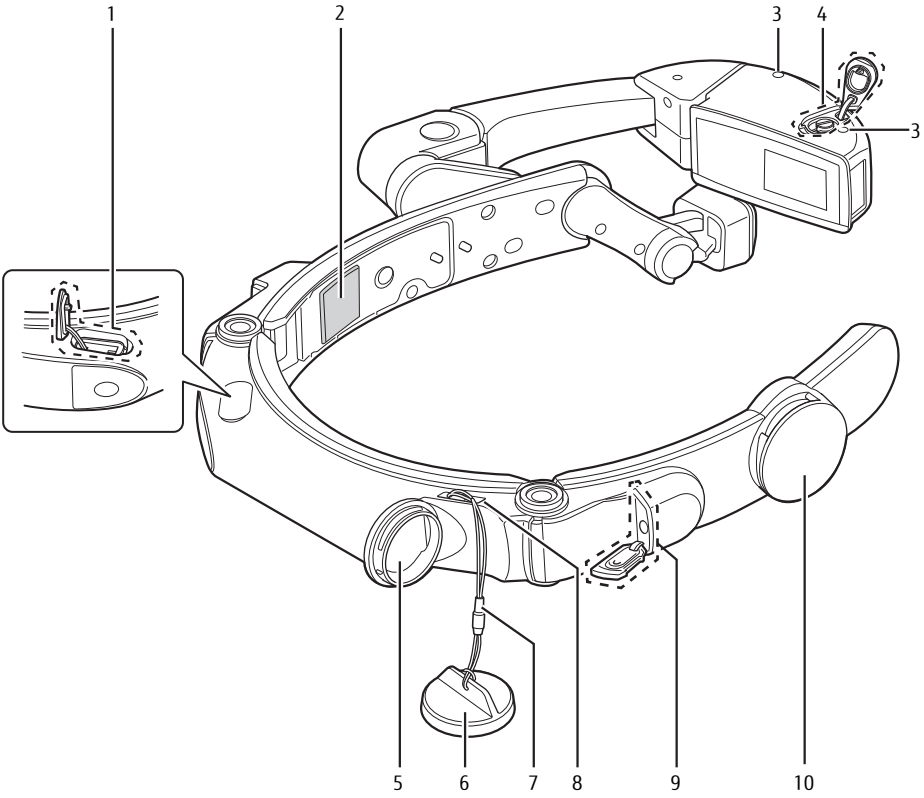
POINT

▸microUSBケーブルを本製品に接続しても、バッテリーパックは充電できません。

7 電源ランプ
電源ボタンを押して、電源が入ると緑色に点灯し、しばらくすると消灯します。
8 電源ボタン（⏻）
電源ボタンを押すことで、次のような操作ができます。

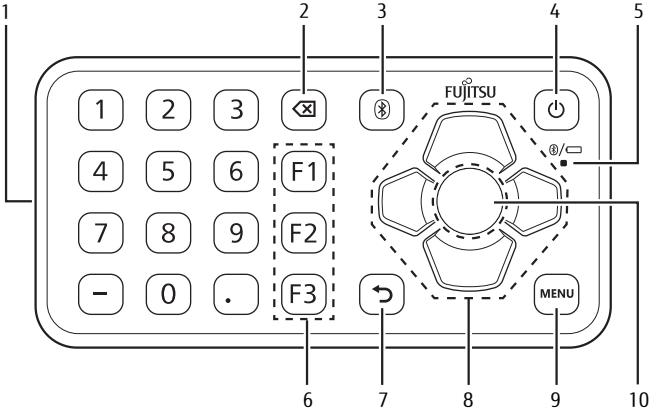
電源ボタンの操作	動作内容
短押し	ディスプレイの表示／非表示
長押し	電源のオン／オフ[注]
13 秒以上の長押し	再起動

注 : バッテリーパックの残量が少ないときは、電源ボタンを長押ししても本製品が起動しません（電源ランプが赤色に 3 回点滅します）。



1 microSD カードスロットキャップ、microSD カードスロット（ ）
詳しくは、「microSD カード」（→ P.50）をご覧ください。
2 面ファスナー
ベルトアタッチメントに付いている面ファスナーを取り付けます。
3 マイク
全部で 4ヶ所あります。
4 視度調整用キャップ、視度調整用ネジ
使用時にディスプレイの表示が見えにくいときに調整します。見えにくい場合は、「位置／見え方を調整する」（→ P.36）をご覧ください。
5 バッテリーパック
充電式のバッテリーパックです。充電の手順については、「バッテリーパックを充電する」（→ P.21）をご覧ください。
6 バッテリーキャップ
7 ストラップ
8 ストラップホール
9 イヤホン接続端子キャップ、イヤホン接続端子（ ）
10 スピーカー

■表面



1 microUSB コネクタキャップ、microUSB コネクタ
2 【BackSpace】キー（⌫）
3 【Bluetooth】キー（ᛒ）
4 【電源】キー（⏻）
【電源】キーを押すことで、次のような操作ができます。

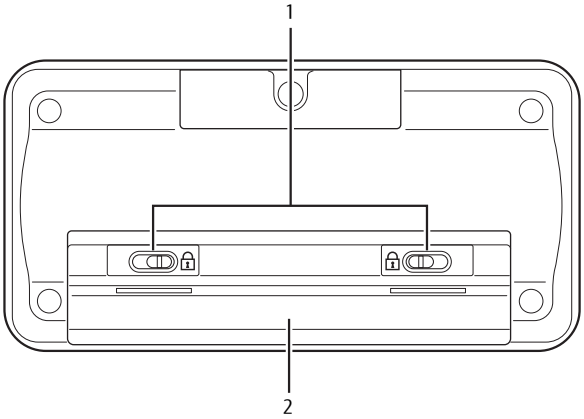
【電源】キーの操作	動作内容
短押し	乾電池の残量の確認 ・ 電源が入っている場合、Bluetooth ／電源ランプが点灯します。 ・ 電源が入っていない場合、Bluetooth ／電源ランプが点灯しません。
長押し	電源のオン／オフ 電源が入ると、Bluetooth ／電源ランプが点灯します。

重要

▸microUSBケーブルを接続した状態で、キーボードの電源をオンにすることはできません。必ずmicroUSBケーブルを抜いてから電源を入れてください。

5 Bluetooth ／電源ランプ（ᛒ/▭）
Bluetooth の接続状態または乾電池の残量を表します。詳しくは、「キーボードの Bluetooth ／電源ランプ」（→ P.50）をご覧ください。
6 ワンタッチボタン（【F1】～【F3】）
任意のアプリを割り当て、ボタンを押すだけ（ワンアクション）でアプリを起動させることができます。
7 【戻る】キー（⮌）
8 カーソルキー
カーソルを上下左右に移動します。
9 【MENU】キー
10 【Enter】キー

■裏面



1 ロックボタン
電池ボックスのふたを開けたり閉めたりするときに、スライドします。

2 電池ボックス、電池カバー
単 4 形アルカリ乾電池を 2 本入れます。乾電池の取り付けについては「キーボードを取り付ける」（→ P.33）をご覧ください。

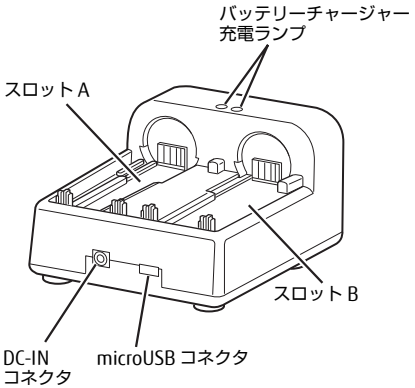
2. 組み立てる

本製品を頭に装着するまでを説明します。

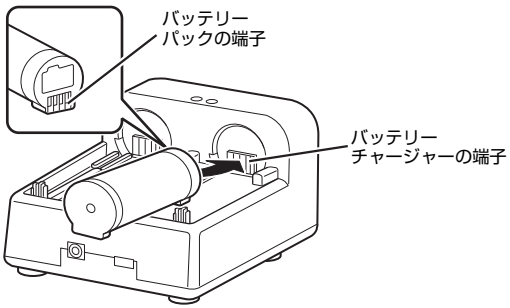
バッテリーパックを充電する

ご購入時、バッテリーパックは充分に充電されていません。充電してからお使いください。
AC アダプタを使用して充電する方法を説明します。

■バッテリーチャージャーの各部名称



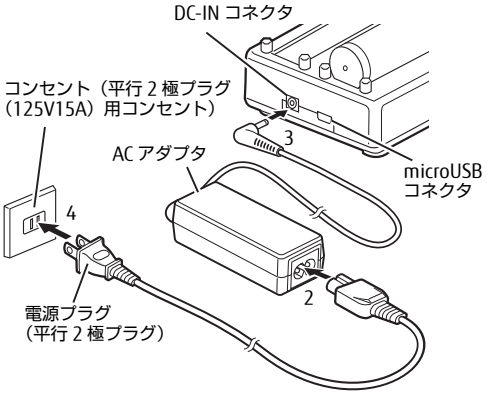
1 バッテリーパックをバッテリーチャージャーに取り付けます。
バッテリーパックの端子とバッテリーチャージャーの端子の方向を合わせて、取り付けてください。



2 AC アダプタに電源ケーブルを接続します。

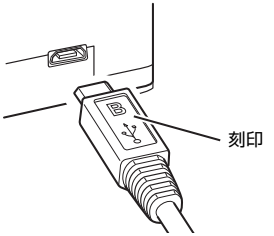
3 電源ケーブルをバッテリーチャージャーの DC-IN コネクタに接続します。

4 AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントに接続します。



重要

- microUSBケーブルを接続するときは、コネクタの刻印を確認してから接続してください。コネクタの向きに、充分注意してください。端子の向きを間違えると、破損するおそれがあります。



POINT

- DC-INコネクタを使用して充電する場合
  スロットAとスロットBに、1本ずつまたは2本同時に取り付け、充電できます。
- microUSBコネクタを使用して充電する場合
  microUSBケーブルで次のものを接続すると、スロットBのみ充電できます。
  ·パソコン
  ·スマートフォン
  ·タブレット
  ·スマートフォンやタブレット用の microUSB タイプの AC アダプタ

5 充電の状態を確認します。

バッテリーチャージャー充電ランプの状態は、次のようになります。

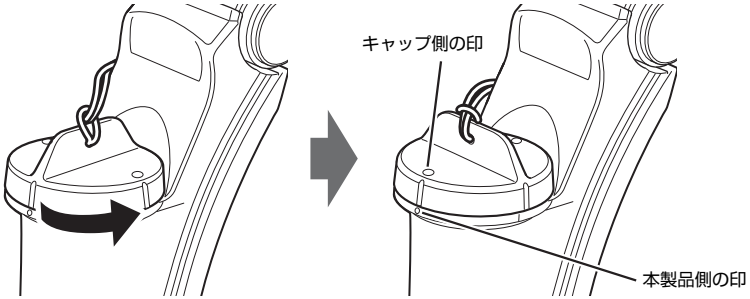
バッテリーチャージャー充電ランプ	バッテリーパックの充電状態
赤色点灯	充電中
点滅	・充電タイマー満了 長時間充電が完了しない場合に、点滅します。バッテリーパックをバッテリーチャージャーから取り外して、充電し直してください。 ・電池電圧異常 バッテリーパックの電圧に異常がある場合に、点滅します。バッテリーパックをバッテリーチャージャーから取り外して、充電し直してください。 何度か充電し直しても、バッテリーチャージャー充電ランプが点滅してしまう場合には、ご購入元にご連絡ください。
消灯	充電完了

重要

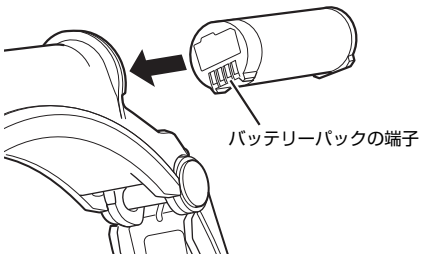
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- バッテリーパックの温度が充電可能な範囲外になった場合には、充電エラーになりバッテリーチャージャー充電ランプが消灯します。バッテリーパックが熱くなっている場合には、温度が下がってから再度充電してください。
- バッテリーパックは消耗品です。長期間使用すると充電能力が低下し、バッテリーパックの駆動時間が短くなります。バッテリーパックの駆動時間が極端に短くなったり満充電にならなくなったりした場合は、バッテリーパックの寿命です。別売の新しいバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックをセットする

1 バッテリーキャップを反時計回りに回して開けます。
キャップ側の印と本製品側の印を合わせます。

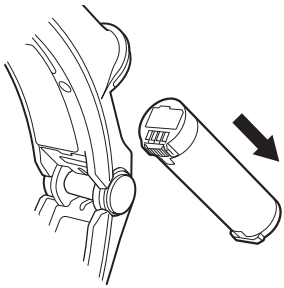


2 バッテリーパックを本製品に差し込みます。
本製品側の端子を確認し、バッテリーパックの端子を合わせます。

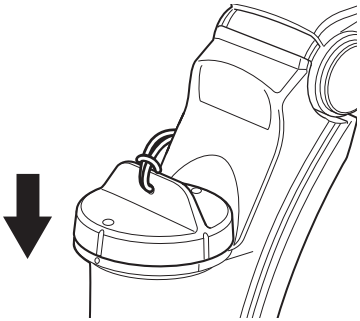


POINT

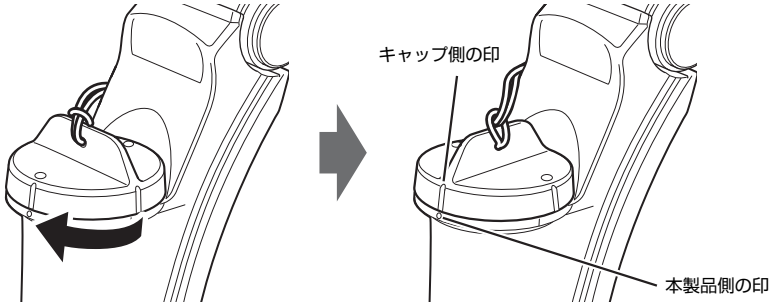
▸バッテリーパックを本製品から取り出す場合は、ゆっくりと本製品を傾けてください。
勢いよく傾けると、バッテリーパックが急に出てくることがあります。



3 バッテリーキャップを図のような向きにして押し込みます。



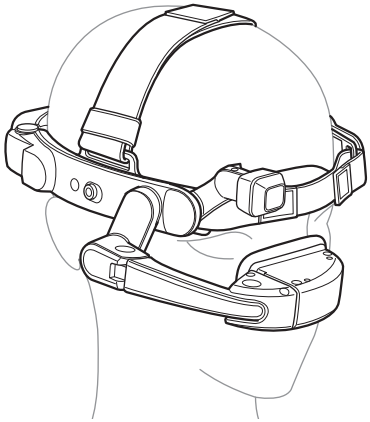
4 バッテリーキャップを時計回りに回して閉じます。
元のようにキャップ側の印と本製品側の印を合わせます。



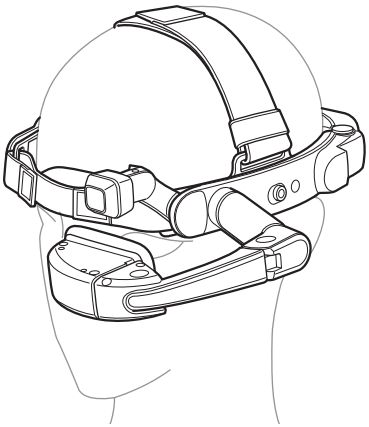
本製品の装着する向きを決める

本製品は左右どちらの目でも使用可能です。ディスプレイをどちらの目に合わせるか決めてください。
本書では右目用で使用する場合で説明します。

■右目用で使用する例



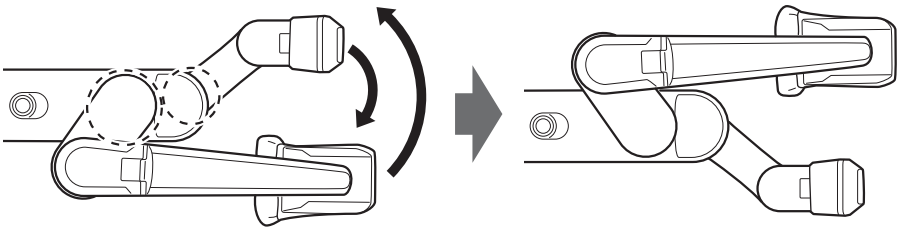
■左目用で使用する例



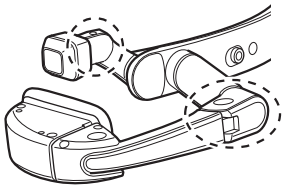
POINT

▸左目用で使用する場合

1　丸が付いた部分の関節を動かして、カメラとディスプレイの位置を反転します。



2　ひっくり返して左目用にします。見え方の調整は、丸が付いた部分の関節を調整します。



使用スタイル

本製品は、頭にそのまま装着するスタイルとお持ちのヘルメットに装着するスタイルがあります。
それぞれのスタイルによって、手順が異なります。

■頭部に装着するスタイル

「フィッティングベルトを組み立てる」（→ P.26）に進んでください。

■ヘルメットに装着するスタイル

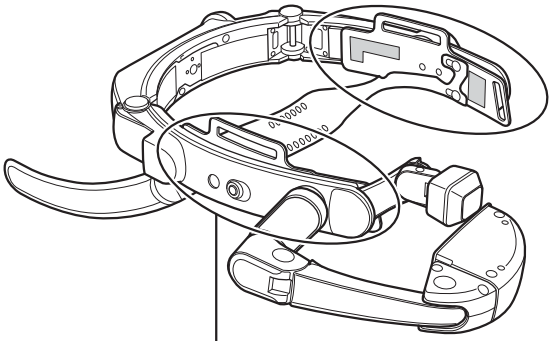
「ヘルメットに取り付ける」（→ P.31）に進んでください。

フィッティングベルトを組み立てる

本製品の内側に装着するフィッティングベルトを組み立てます。装着する頭の大きさの調整は最後にできますので、最初は次の手順通りに組み立ててください。

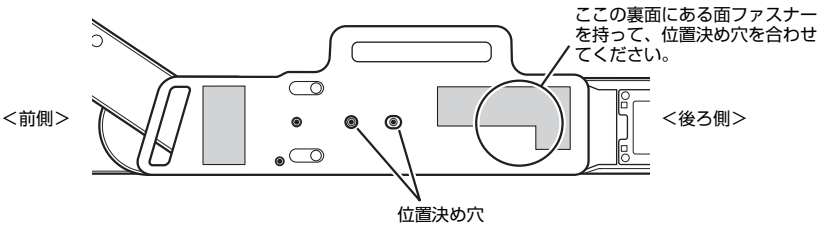
1 本製品にベルトアタッチメントとヘッドアジャスターを取り付けます。
丸が付いた部分に取り付けます。

<ベルトアタッチメントとヘッドアジャスターを取り付けた状態>

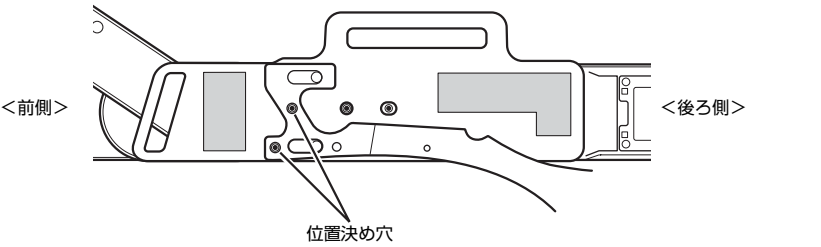


ここでは、こちら（右側）に取り付ける手順を説明します。

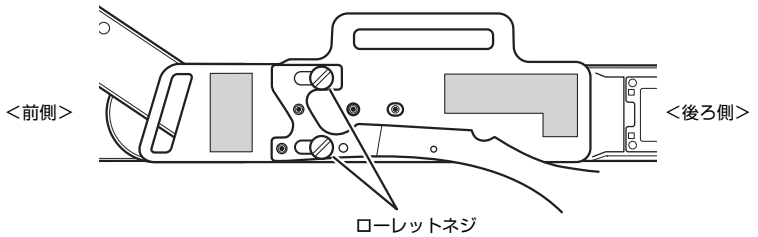
1. ベルトアタッチメント R の面ファスナーが一枚貼られている面を本製品側にして、位置決め穴を合わせます。
   位置決め穴が合っているかを確認します。位置決め穴と合わない場合、先に面ファスナーが付かないように次の図の丸を付けた部分にある面ファスナーを持ち、位置決め穴を合わせてください。合ったことを確認した後、面ファスナーを付けてください。



2. ヘッドアジャスター R をベルトアタッチメント R に重ね、位置決め穴を合わせます。
   位置決め穴が合っているかを確認します。ヘッドアジャスターに向きがありますので、ラチェット部分が後ろ側に来るようにしてください。



3. ローレットネジで 2ヶ所固定します。
ドライバーやコインなどでしっかりと締めてください。



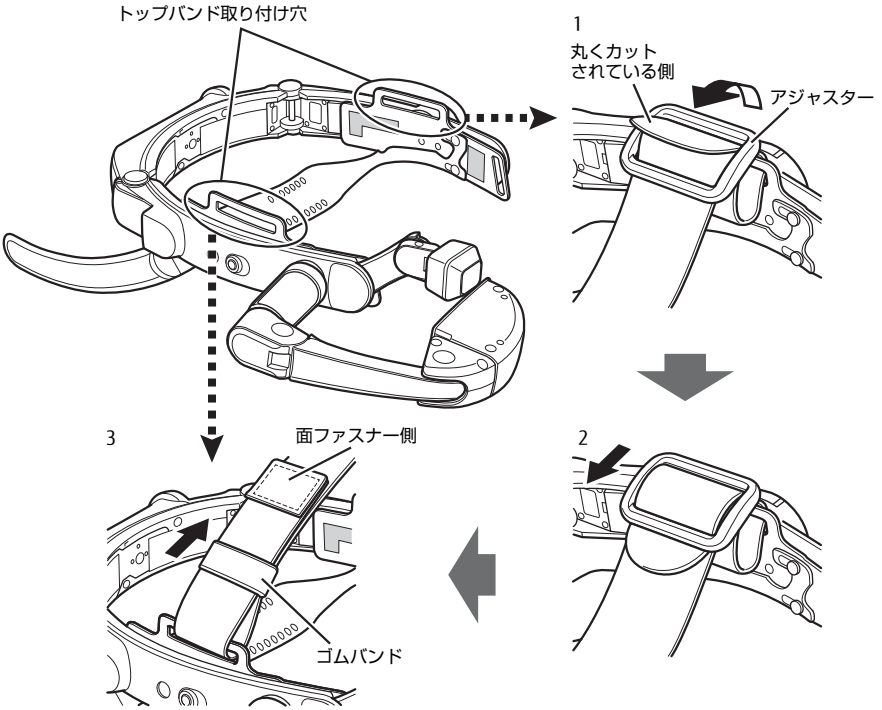
4. 同様にベルトアタッチメントLとヘッドアジャスターLを左側に取り付けます。

2 トップバンドをベルトアタッチメントに取り付けます。

POINT

▸左右どちらから取り付けても問題はありませんが、トップバンドの面ファスナー側を利き手側にすると調整しやすくなります。

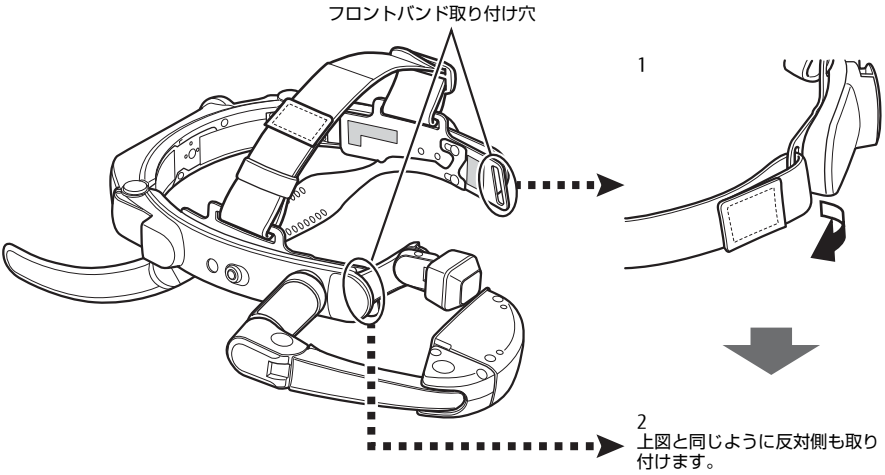
1. トップバンドの丸くカットされている側をトップバンド取り付け穴に通した後、外側から内側へトップバンドをアジャスターに通します。
2. 図のようにアジャスターに通して固定します。
3. 反対側のトップバンドの面ファスナー側をトップバンド取り付け穴に通した後、ゴムバンドをくぐらせ、面ファスナーで固定します。



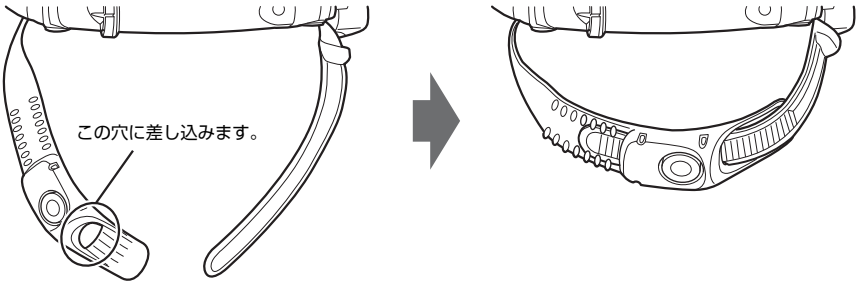
3 フロントバンドをベルトアタッチメントに取り付けます。

フロントバンド取り付け穴にフロントバンドを通して、取り付けてください。

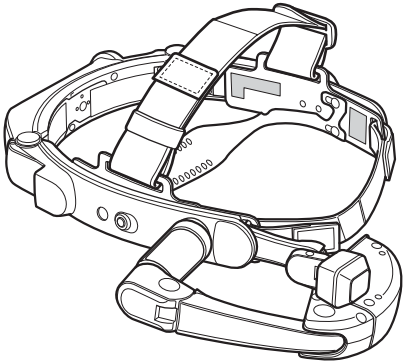
1. フロントバンドをフロントバンド取り付け穴に通した後、面ファスナーで固定します。
2. 同様に反対側も固定します。



4 ヘッドアジャスターを差し込みます。

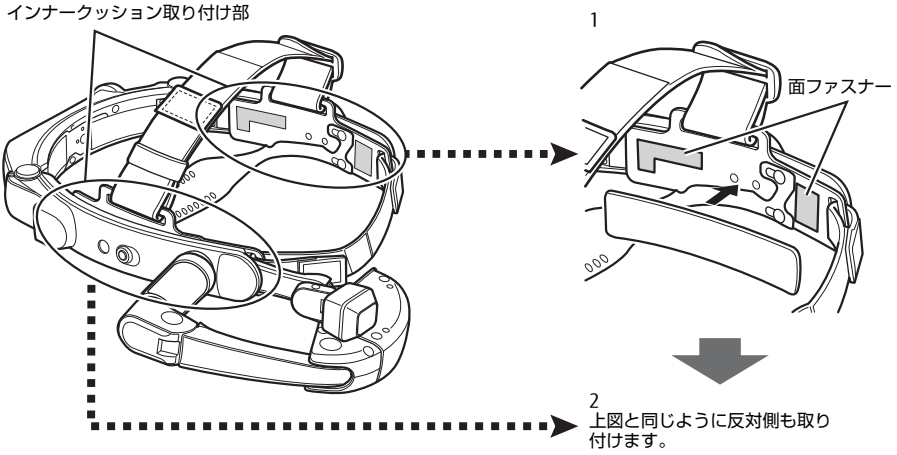


＜フィッティングベルトを取り付けた状態＞



5 サイドクッションをフィッティングベルトの内側にある左右の面ファスナーに取り付けます。

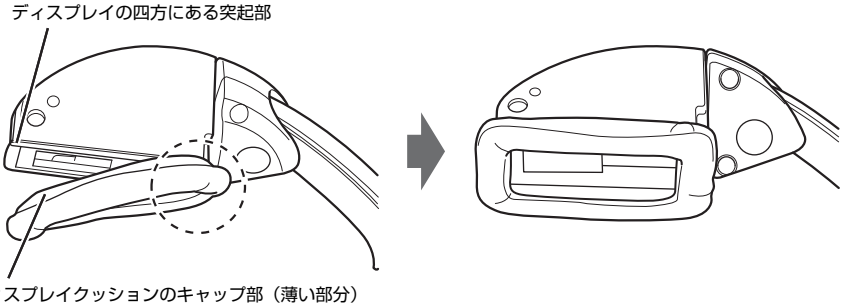
1. クッションの面ファスナーに付く面の方を取り付けます。
2. 同様に反対側も取り付けます。



6 ディスプレイクッションをディスプレイに取り付けます。

次のイラストの丸が付いた部分から取り付けます。

ディスプレイの突起部をキャップ部で包み込むようにして、ディスプレイクッションをかぶせます。かぶせるときに、キャップ部を内側に折り込まないようにしてください。



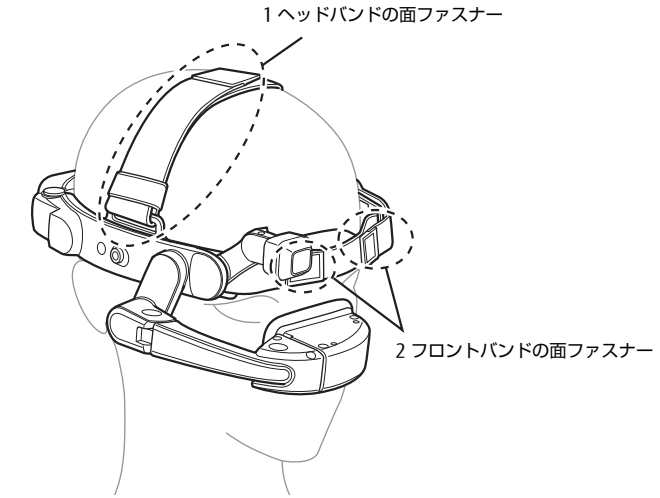
これで、本製品の組み立ては完了です。

ヘッドマウントディスプレイを頭部に装着／調整する

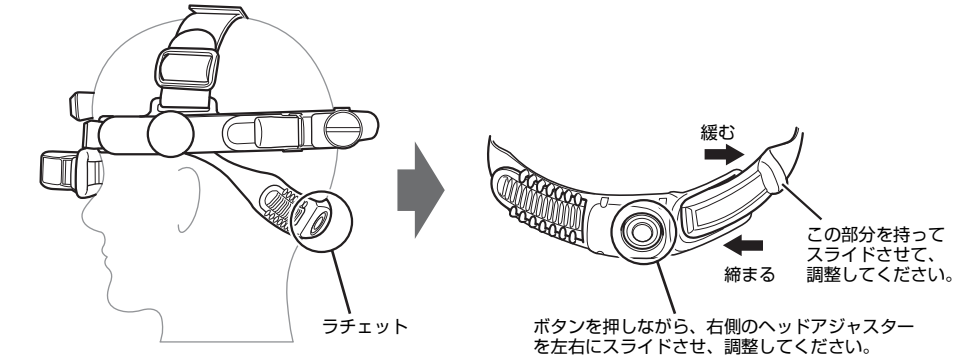
日常生活で眼鏡を使用している場合は、それらを使用したまま装着してください。
装着した後に、頭に合わせて、バンドなどの長さを調整してください。

1 ヘッドマウントディスプレイを頭部に装着します。

2 はじめにヘッドバンドにある面ファスナーを合わせて、次にフロントバンドにある面ファスナーで調整します。
それぞれ頭に合わせて、面ファスナーを調整してください。



3 ヘッドアジャスターのラチェットを調整します。
スピーカーが耳の上に来る位置に調整します。



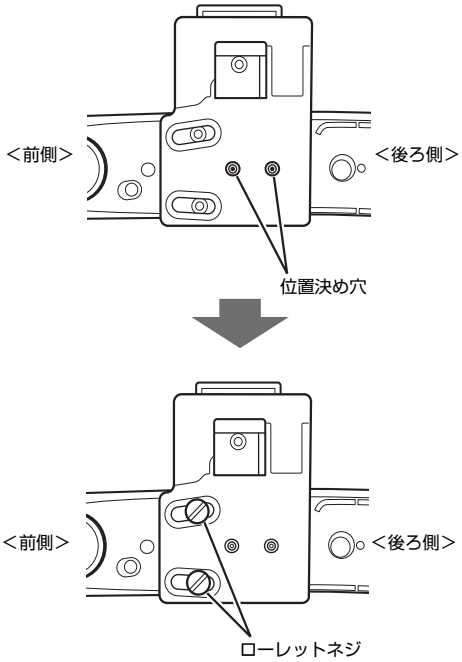
引き続き、キーボードを腕に取り付けます。「キーボードを取り付ける」（→ P.33）に進んでください。

ヘルメットに取り付ける

市販のヘルメットにヘッドマウントディスプレイを取り付けて、使用することができます。
市販のヘルメットによっては、本製品が装着できない場合があります。

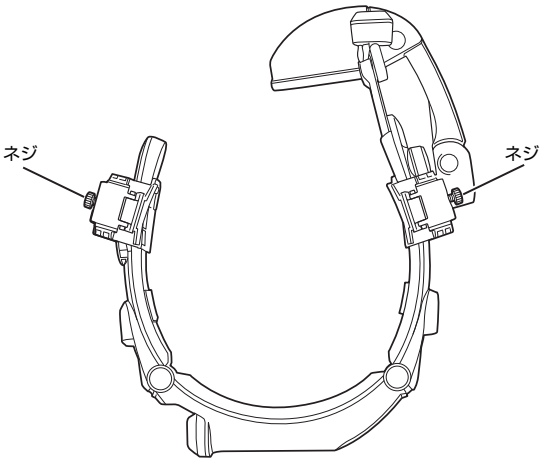
1 本製品にヘルメット装着クリップ L とヘルメット装着クリップ R を取り付けます。

1. ヘルメット装着クリップの位置決め穴を合わせ、ローレットネジでそれぞれ 2ヶ所ずつ固定します。
   ヘルメット装着クリップは、外側にネジ部分が出るようにしてください。ローレットネジは、ドライバーやコインなどでしっかりと締めてください。



2. 同様に反対側も取り付け、ドライバーやコインなどでしっかりと締めます。

2 左右のヘルメット装着クリップに付いているネジを緩めます。

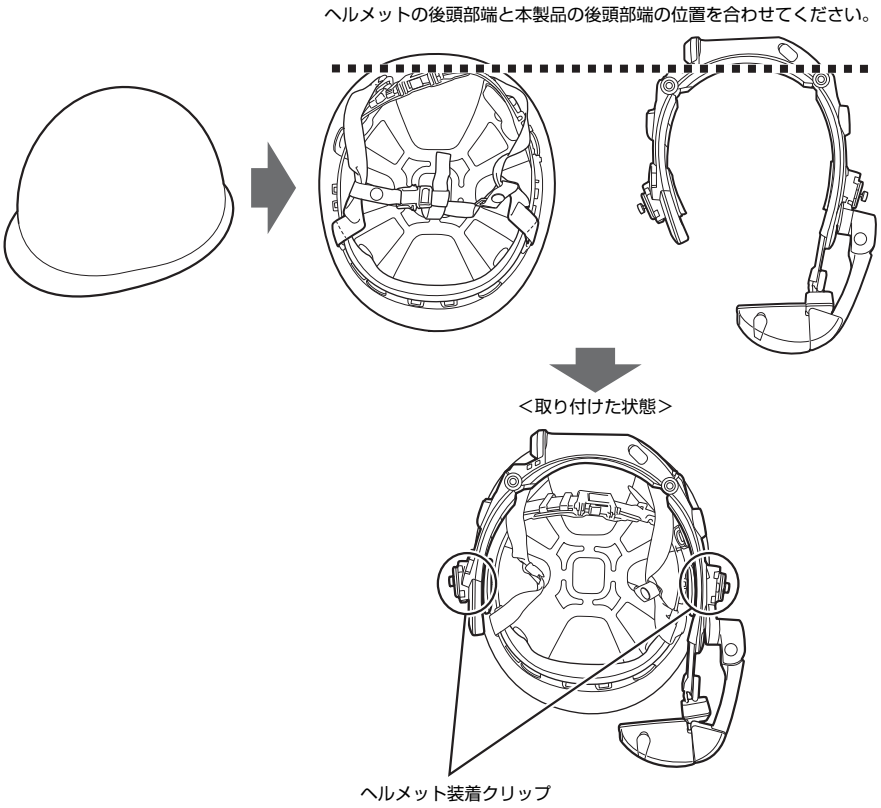


3 ヘルメットと本製品の位置を決め、ヘルメットに本製品を取り付けます。

あごひもがある場合、取り付けする前にヘルメットの内側に入れます。

本製品の取り付ける位置が決まったら、ヘルメット装着クリップのすき間にヘルメットをはさみ、ネジを締めます。

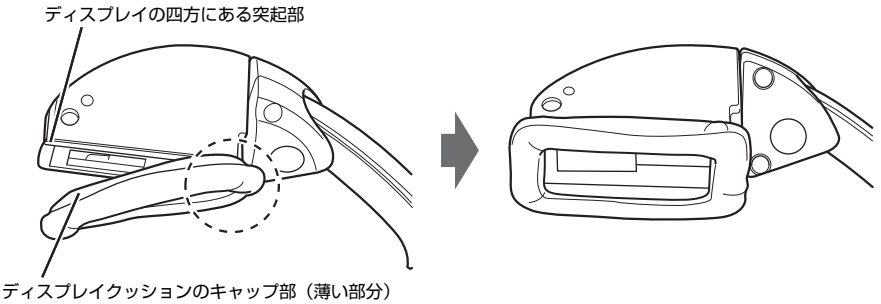
本製品がヘルメットに対して適正な位置に取り付られていない場合、ヘルメットを装着したときに耳があたる場合があります。



4 ディスプレイクッションをディスプレイに取り付けます。

次のイラストの丸が付いた部分から取り付けます。

ディスプレイの突起部をキャップ部で包み込むようにして、ディスプレイクッションをかぶせます。かぶせるときに、キャップ部を内側に折り込まないようにしてください。

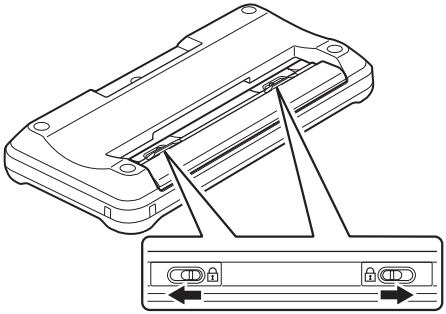


5 ヘルメットを頭に装着します。

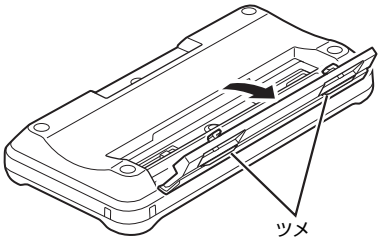
キーボードを取り付ける

キーボードに乾電池を入れ、腕に取り付ける方法を説明します。

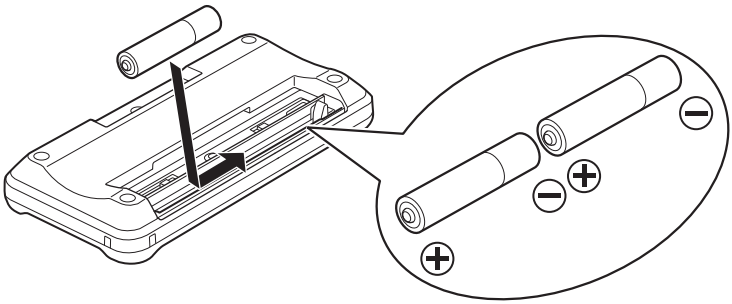
1 ロックボタンを矢印方向にスライドさせてロックを解除します。



2 裏面の電池ボックスのふたを開けます。
ツメに指をかけて、ふたを斜めに持ち上げて開けます。



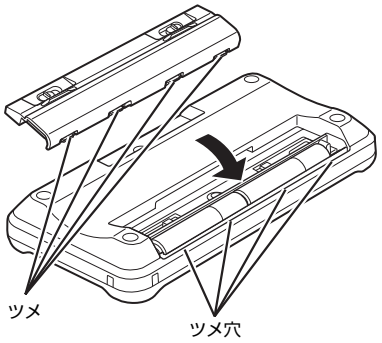
3 単 4 形アルカリ乾電池を右側から順番に入れます。
右側になる乾電池を入れるとき、電池ボックスの右側に突起があるため、必ず左から入れて右へスライドさせます。



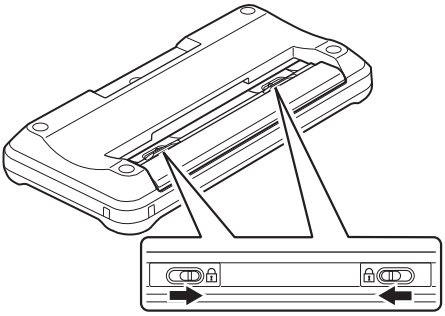
重要

- 乾電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意して入れてください。
- 種類の異なる乾電池を使用したり、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜたりしてご使用にならないでください。

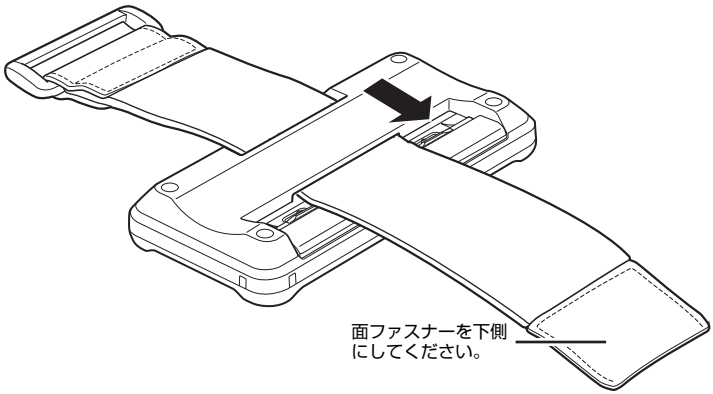
4 ツメとツメ穴を合わせてから電池ボックスのふたを閉めます。
ロックが解除されていることを確認し、しっかりとはめこみます。



5 ロックボタンを矢印方向にスライドさせ、ふたを固定します。

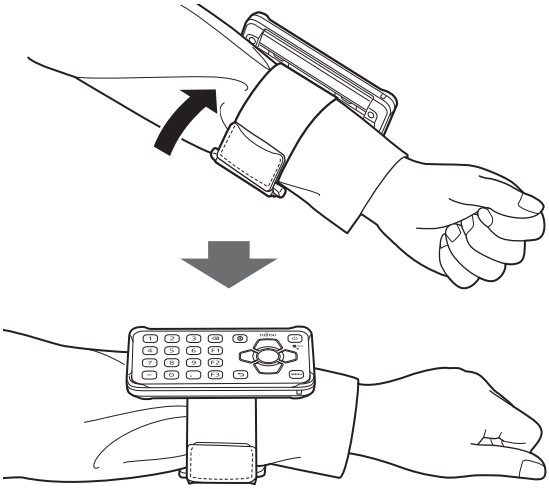


6 キーボードベルトをキーボードの裏面に通します。
面ファスナーを下側にして、キーボードベルトを通します。



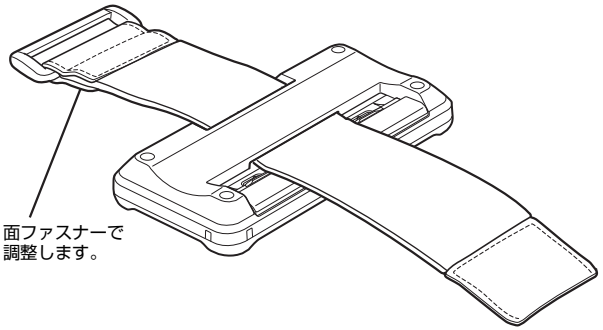
7 キーボードを腕に取り付けます。

裏面に通したキーボードベルトを腕に巻き付け、穴を通して面ファスナーで固定してください。
腕からキーボードが抜けないように、しっかりとキーボードベルトを締めてください。



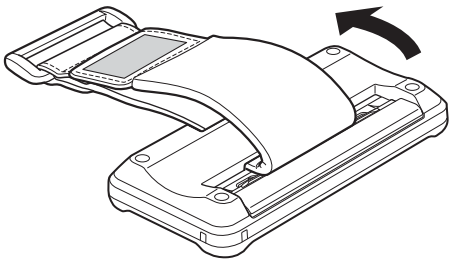
POINT

▸次の図に示す面ファスナーで、キーボードベルトの長さを調整できます。



POINT

▸二回目以降は、キーボードベルトを外さずに乾電池の交換ができます。次のようにキーボードベルトを持ち上げて行ってください。



3. 初期設定

ご使用になる前に、次の手順で初期設定を行います。

「位置／見え方を調整する」（→ P.36）
↓
「「HMD ホーム」画面を起動する」（→ P.37）
↓
「ディスプレイを見る目を設定する」（→ P.38）
↓
「ペアリング（接続）」（→ P.39）

POINT

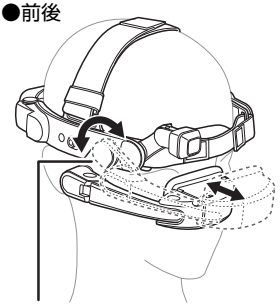
▸ 初期設定の途中で作業が中断したときなど、手順の途中から設定を始める場合は、本製品の電源が入っていることを確認してください。

位置／見え方を調整する

1 本製品の電源ボタンを長押しします。
画面が表示されます。

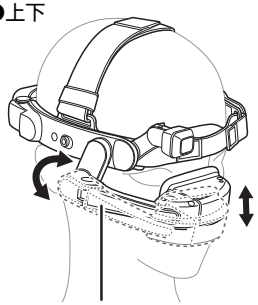
2 目の正面に画面の位置を合わせます。
ディスプレイが、目の 3cm 程度前にくるようにします。

●前後

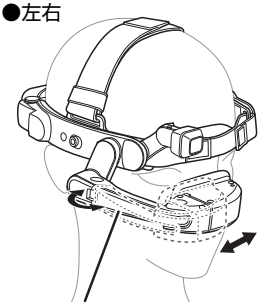


ここを持って、ディスプレイを動かしてください

●上下

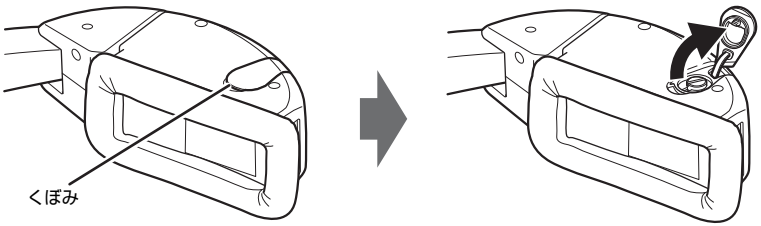


●左右

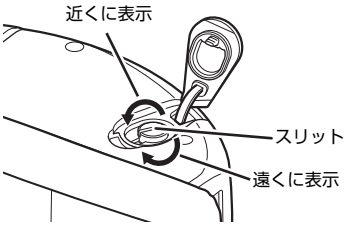


ここを持って、ディスプレイを動かしてください

3 見え方を調整します。
1. くぼみに指をかけ、視度調整用キャップを開けます。



2. 視度調整用ネジを回し、表示する画面のピントを調整します。
スリットに爪をかけて、視度調整用ネジを回してください。



POINT

▸ネジが回しにくい場合は、本製品を一度頭から取り外してください。

3. 視度調整用キャップを閉じます。

「HMD ホーム」 画面を起動する

1 本製品の画面で、「HMD ホーム」を選択します。
「ばんごう いち」と発声してください。

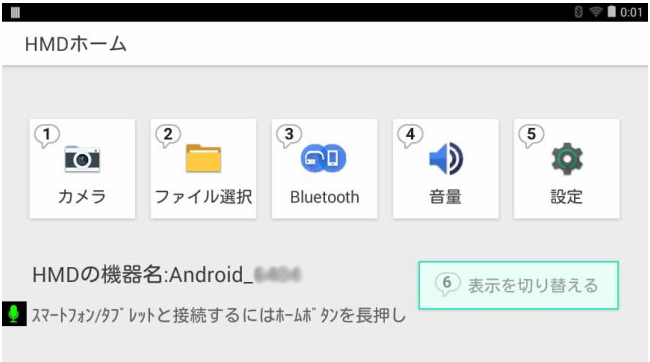
〈ヘッドマウントディスプレイ 起動画面〉

POINT

▸吹き出しマークが表示されている項目は、音声入力が可能です。
発声する用語について、詳しくは「音声入力の用語一覧」（→P.47）をご覧ください。
▸音声入力ができない場所では、キーボードでの操作も可能です。
その場合は、キーボードを添付のmicroUSBケーブルで接続します。接続方法は「microUSBケーブルを接続する」（→P.51）をご覧ください。
▸次回起動時はこの画面は表示されません。この画面を再度表示したい場合は、「HMDホーム」画面で「設定」→「その他の設定」→「ホーム」→「ランチャー」で設定できます。
「Audroidホーム」を選択した場合は、次回起動時もこの画面が表示されます。

「HMD ホーム」画面が表示されます。

■「HMD ホーム」画面メニュー



1 カメラ：本製品のカメラを起動します
2 ファイル選択：ファイルビューアーを起動します
3 Bluetooth：本製品とスマートフォンを Bluetooth（HFP）で接続をします
4 音量：動画・通知音などの音量を設定します（→ P.45）
5 設定：画面の明るさ、右目と左目の切替などを設定します（→ P.46）
6 表示を切り替える：Miracast 接続中に、本製品とスマートフォンの画面を切り替えます

ディスプレイを見る目を設定する

1 「HMD ホーム」画面で、「設定」を選択します。
「ばんごう ご」と発声してください。

〈HMD ホーム画面〉

POINT

- キーボードが接続されている場合、キーボードでメニューを選択することもできます。

2 「右目左目切替」を選択します。
「ばんごう に」と発声してください。

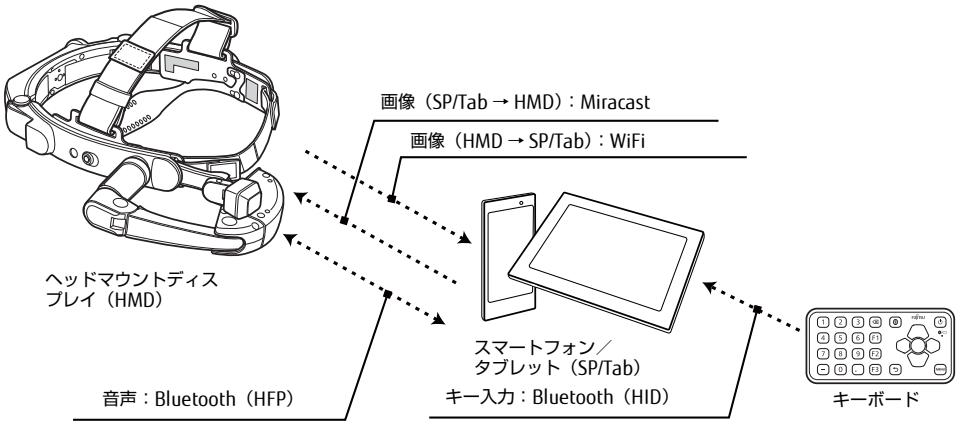
3 お使いの状態に合わせて選択します。
選択したい数字「ばんごう いち」、「ばんごう に」、または「ばんごう さん」を発声してください。
「自動」は本製品の状態から画面表示を自動で切り替えます。

4 「OK」を選択します。
「ばんごう ご」と発声してください。

ペアリング （接続）

本製品、スマートフォン、キーボードを接続します。

■標準構成



■本製品とスマートフォンの接続（Bluetooth）

1 スマートフォンの電源を入れます。
電源ボタンを長押ししてください。

2 「HMD ホーム」画面で、「Bluetooth」→「OK」の順に選択します。
「ばんごう さん」→「ばんごう に」と発声してください。

〈HMD ホーム画面〉

3 スマートフォンのホーム画面からメニューを表示し、「システム設定」をタップします。

〈スマートフォンホーム画面〉

4 「Bluetooth」をタップします。
「Bluetooth」が「OFF」になっている場合は、「ON」に切り替えてください。
本製品が認識されるまで待ちます。

5 「FHMD001」をタップします。

6 「Bluetooth のペア設定リクエスト」画面にて、本製品に表示されているパスキーと同じことを確認し、「ペア設定する」をタップします。
HMD の画面上には次の画面が表示され、接続されると画面が切り替わります。

〈HMD ホーム画面〉

7 「HMD ホーム」画面で、「OK」を選択します。
「ばんごう いち」と発声してください。

〈HMD ホーム画面〉

これで、接続完了です。

重要

- サポートしているプロファイルは、HFPのみです。
- 本製品は、一度電源を切ったり通信ができない状況になると、接続可能な状況になっても、自動的にスマートフォンと再接続されません。手順3からの操作を行う必要があります。

■本製品とスマートフォンの接続（Miracast）

1 「HMD ホーム」画面が「ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ / ﾀﾌﾞﾚｯﾄからの接続を待っています」という表示に変わるまで、ホームボタンを長押しします。

2 スマートフォンの電源を入れます。
電源ボタンを長押ししてください。

3 スマートフォンのホーム画面からメニューを表示し、「システム設定」をタップします。

〈スマートフォンホーム画面〉

4 「ディスプレイ」→「Miracast」の順にタップします。
「Miracast」が「OFF」になっている場合は、「ON」に切り替えてください。

5 デバイス名をタップします。
デバイス名は、「HMD ホーム」画面に表示されています。

〈HMD ホーム画面〉

スマートフォンの表示が、「接続済み」に変わり、本製品のディスプレイにスマートフォンの画面が表示されます。

これで、接続完了です。

重要

- 本製品は、一度電源を切ったり通信ができない状況になると、接続可能な状況になっても自動的にスマートフォンと再接続されません。手順3からの操作を行う必要があります。
- Miracast接続は、2.4GHz帯の無線LANの電波を使用します。2.4GHz帯の無線LANの電波を使用できない環境や、電波干渉のある環境では、microUSBケーブルを使った有線接続も可能です。接続方法は、「microUSBケーブルを接続する」（→P.51）をご覧ください。

POINT

- 本製品とスマートフォンをMiracastで接続すると、本製品のシステム時刻は、スマートフォンで設定されている時刻に同期されます。

■キーボードとスマートフォンの接続（Bluetooth）

1 キーボードの電源を入れます。
【電源】キーを Bluetooth ／電源ランプが点灯するまで長押ししてください。

2 キーボードの【Bluetooth】キーを押します。
Bluetooth ／電源ランプが青色に点滅するまで長押しします。ペアリング待機状態になります。

3 スマートフォンのホーム画面からメニューを表示し、「システム設定」をタップします。

〈スマートフォンホーム画面〉

4 「Bluetooth」をタップします。
「Bluetooth」が「OFF」になっている場合は、「ON」に切り替えてください。
キーボードが認識されるまで待ちます。

5 キーボードの Bluetooth アドレスをタップします。

〈スマートフォン設定画面〉

デバイス名の下に「接続」と表示されます。

POINT

▸一度スマートフォンにキーボードを接続すると、次回からは「FHMD-WKB****」と表示されます。

〈スマートフォン設定画面〉

これで、接続完了です。

4. 使い方

起動する

本製品は、一度電源を切ったり通信ができない状況になると、接続可能な状況になっても、自動的にスマートフォンやキーボードと再接続されません。そのため、ご使用になる前に、必ず次の再接続の操作が必要となります。

POINT

▸ペアリングは初期設定時のみで、毎回行う必要はありません。

1 本製品、スマートフォン、キーボードの電源を入れます。

2 スマートフォンのホーム画面からメニューを表示し、「システム設定」をタップします。

〈スマートフォンホーム画面〉

3 「Bluetooth」をタップします。
「Bluetooth」が「OFF」になっている場合は、「ON」に切り替えてください。
本製品が認識されるまで待ちます。

4 「FHMD001」をタップします。

5 「ペア設定する」をタップします。
これで、Bluetooth の接続完了です。

6 もう一度、スマートフォンの「システム設定」画面を表示します。

〈スマートフォンホーム画面〉

7 「ディスプレイ」→「Miracast」の順にタップします。
「Miracast」が「OFF」になっている場合は、「ON」に切り替えてください。

8 HMD の機器名をタップします。
デバイス名は、「HMD ホーム」画面に表示されています。

〈HMD ホーム画面〉

スマートフォンの表示が、「接続済み」に変わり、本製品のディスプレイにスマートフォンの画面が表示されます。これで、Miracast の接続完了です。

音量／明るさの設定

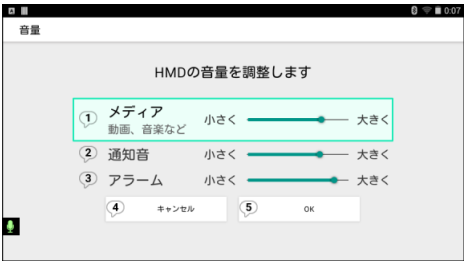
■音量設定

1 「HMD ホーム」画面で、「音量」を選択します。
「ばんごう よん」と発声してください。

POINT

- キーボードが接続されている場合、キーボードでメニューを選択することもできます。

2 変更したい音量の項目を選択し、音量を調整します。
選択したい数字「ばんごう いち」、「ばんごう に」、または「ばんごう さん」を発声してください。
その後「おおきく」または「ちいさく」と発声し、音量を調整してください。



POINT

- キーボードが接続されている場合、キーボードの左右キーでも音量を調整できます。

3 「OK」を選択します。
「ばんごう ご」と発声してください。

■画面の明るさ設定

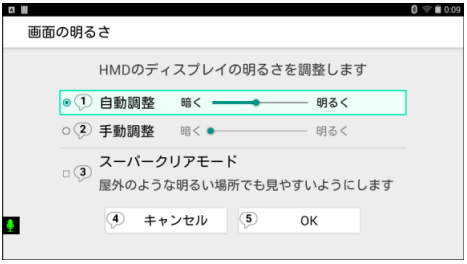
1 「HMD ホーム」画面で、「設定」を選択します。
「ばんごう ご」と発声してください。

POINT

- キーボードが接続されている場合、キーボードでメニューを選択することもできます。

2 「画面の明るさ」を選択します。
「ばんごう いち」と発声してください。

3 変更したい項目を選択し、明るさを調整します。
選択したい数字「ばんごう いち」、「ばんごう に」、または「ばんごう さん」を発声してください。
その後「あかるく」または「くらく」と発声し、明るさを調整してください。



POINT

- キーボードが接続されている場合、キーボードの左右キーでも画面の明るさを調整できます。

4 「OK」を選択します。
「ばんごう ご」と発声してください。

音声入力の用語一覧

本製品の画面で、吹き出しマークが表示されている項目は音声入力が可能です。発声する用語については、次の表をご覧ください。

画面表示		読み	
日本語	英語	日本語	英語
1		ばんごう いち	Number one
2		ばんごう に	Number two
3		ばんごう さん	Number three
4		ばんごう よん	Number four
5		ばんごう ご	Number five
6		ばんごう ろく	Number six
7		ばんごう なな	Number seven
8		ばんごう はち	Number eight
9		ばんごう きゅう	Number nine
0		ばんごう ぜろ	Number zero
設定	Settings	せってい	Settings
小さく	Volume down	ちいさく	Volume down
大きく	Volume up	おおきく	Volume up
暗く	Dark	くらく	Dark
明るく	Bright	あかるく	Bright
写真	Photo	しゃしん	Photo
動画	Video	どうが	Video
停止	Stop	ていし	Stop
確認	View	かくにん	View
ヘルプ	Help	へるぷ	Help
ズームアウト	Zoom out	ずーむあうと	Zoom out
ズームイン	Zoom in	ずーむいん	Zoom in
早戻し	Fast rewind	はやもどし	Fast rewind
早送り	Fast forward	はやおくり	Fast forward
戻る	Go Back	もどる	Go Back
キャンセル	Cancel	きゃんせる	Cancel
OK	OK	おっけー	OK
音声コマンド	Voice command	おんせいこまんど	Voice command
キーボード操作	Keyboard operation	きーぼーどそうさ	Keyboard operation
モード切替	Switch camera mode	もーどきりかえ	Switch camera mode
写真の解像度	Photo resolution	しゃしんのかいぞうど	Photo resolution
動画の解像度	Video resolution	どうがのかいぞうど	Video resolution
位置情報	Location	いちじょうほう	Location
保存先	Storage	ほぞんさき	Storage
終了	Exit	しゅうりょう	Exit
次のコマンドはカメラにて使用します。			
はい	Yes	はい	Yes
いいえ	No	いいえ	No

吹き出しマークが表示されていない場合に、次の音声を発声すると次の表の動作を行います。

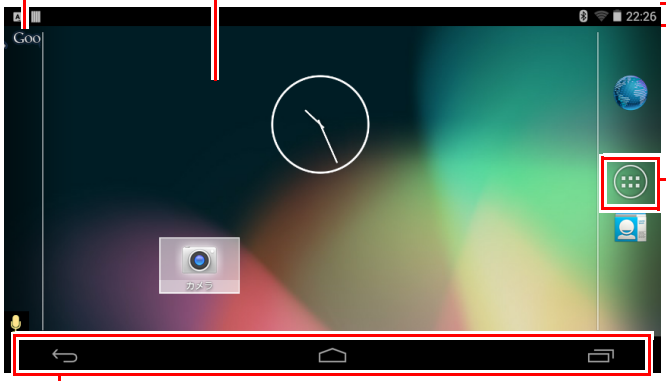
動作	読み	
	日本語	英語
キーボードの【戻る】キーを押した場合と同じ動作となります。	もどる	Go Back
設定画面を表示します。	めにゅー	Menu
フォーカスを上に移動します。	うえ	Up
フォーカスを下に移動します。	した	Down
画面やフォーカスの移動、コントロールバーの操作などに使用します。	ひだり	Left
	みぎ	Right
フォーカスのある場所の機能を起動します。	けってい	Enter
次のコマンドはファイルビューアーにて使用します。		
前のページを表示します。	まえ	Previous
次のページを表示します。	つぎ	Next
ファイルビューアーを終了します。	とじる	Close
ファイルを閉じます。	ふぁいるをとじる	Close file
表示を拡大します。	かくだい	Expand
表示を縮小します。	しゅくしょう	Reduce
先頭ページに移動します。	せんとう	Top
最終ページに移動します。	ぶんまつ	Bottom

Android ホーム画面

本製品を起動し、表示された画面で「Android ホーム」を選択すると、本製品の Android のホーム画面が表示されます。

Google 検索

ホーム画面は全部で 5 画面あり、スライド操作で切り替えます。アプリのショートカットやウィジェットを置くことができます。



ステータスエリア
状態や設定を確認できるアイコンが表示されます。画面の上から下へスライドすると、パネルが表示され、設定を変更できます。

アプリ／ウィジェットメニュー
を選択すると、アプリ一覧とウィジェット一覧が表示されます。

戻る：直前の動作に戻ります。

ホーム：ホーム画面を表示します。

履歴：最近使ったアプリの履歴が表示されます。

画面はお使いの状況により異なります。

POINT

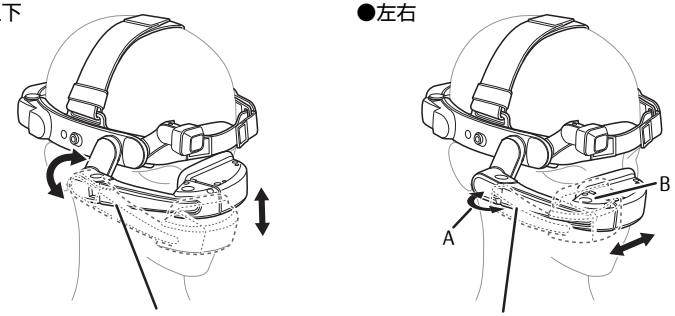
- スマートフォンのホーム画面ではありませんのでご注意ください。

ディスプレイを退避する

ディスプレイを一時的に目から外したい場合は、次の図のように上下・左右に動かします。

●上下

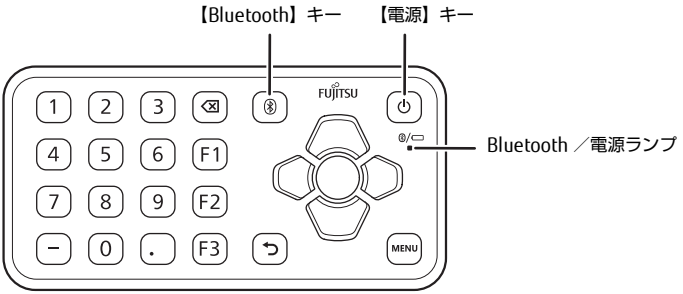
●左右



POINT

- 左右に動かす場合、Bを動かさずに、Aを動かしてディスプレイを退避させると、元に戻すときの位置調整が容易です。

キーボードの Bluetooth ／電源ランプ



キーボードの状態	キーの操作	Bluetooth ／電源ランプ	状態・対処
オフ	【電源】キー長押し（3 秒以上）	赤色点灯	乾電池の残量不足、または内部エラー 一度電源を切り、乾電池を 2 本とも交換してください。それでも赤色点灯が続く場合は、ご購入元にご連絡ください。
オフ	【電源】キー長押し（3 秒以上）	緑色点灯（3 秒） オレンジ色点灯（3 秒） 赤色点灯（3 秒）	乾電池の残量　充分残っています 少なくなってきています ほとんどなくなってきています
オン	【電源】キー短押し		
オン	【電源】キー短押し または キーボード使用中	赤色点灯	乾電池の残量不足、または内部エラー 一度電源を切り、乾電池を 2 本とも交換してください。それでも赤色点灯が続く場合は、ご購入元にご連絡ください。
オン	【Bluetooth】キー長押し（3 秒以上）	青色点滅 （1 秒ごと最大 120 秒間）	ペアリング待ち受け状態 ペアリングが完了すると 5 秒点灯して消灯します。
		赤色点灯	乾電池の残量不足、または内部エラー 一度電源を切り、乾電池を 2 本とも交換してください。それでも赤色点灯が続く場合は、ご購入元にご連絡ください。
オン	【Bluetooth】キー短押し	青色点灯 5 秒	Bluetooth 接続中
オン	【Bluetooth】キー短押し	消灯	Bluetooth 未接続

POINT

▸乾電池の交換方法は「キーボードを取り付ける」（→P.33）をご覧ください。

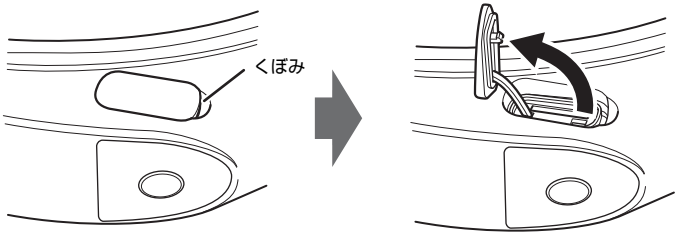
microSD カード

■使用できる microSD カード

microSD カードの種類	容量
microSD カード	2GB 以下
microSDHC カード	32GB 以下
microSDHC UHS-I カード	32GB 以下

■microSD カードのセット／取り出し

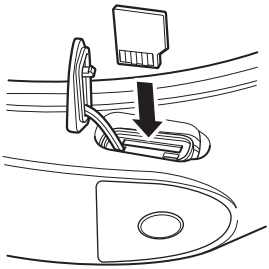
1 くぼみに指をかけ、microSD カードスロットキャップを開きます。



2 microSD カードを「カチッ」と音がするまで microSD カードスロットに差し込みます。
取り出すときは、microSD カードを一度奥に押し、少し出た microSD カードを引き抜きます。

重要

▸microSDカードを取り出す前に、次の手順で必ずマウントの解除を行ってください。
「HMDホーム」画面で 「設定」→「その他の設定」→「ストレージ」→「SD カードのマウント解除」

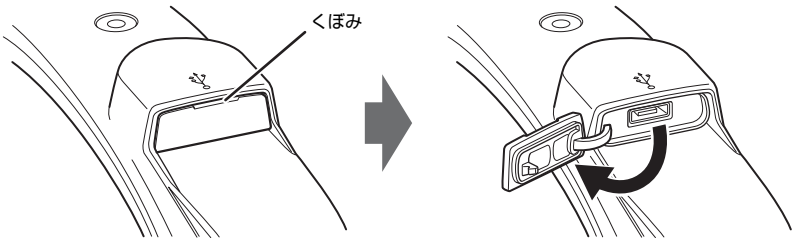


3 microSD カードスロットキャップを閉じます。

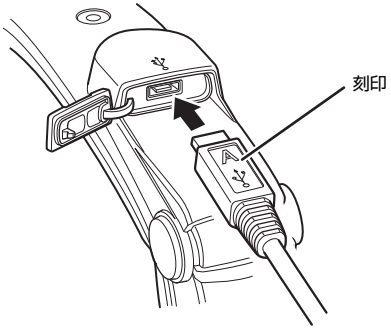
microUSB ケーブルを接続する

キーボードやスマートフォンなどを、本製品に直接接続するときに使用します。
ここでは、キーボードとの接続方法を説明します。

1 くぼみに指をかけ、矢印方向に microUSB コネクタキャップを開きます。

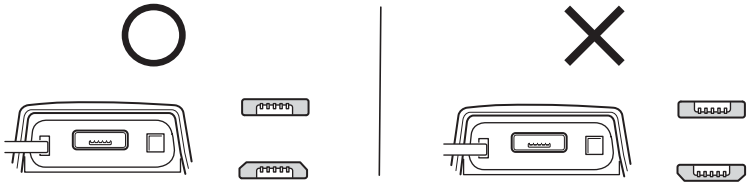


2 microUSB コネクタに添付の microUSB ケーブル（TypeA コネクタ）を接続します。
添付の microUSB ケーブルのコネクタには、TypeA と TypeB があります。
コネクタの刻印を確認してから接続してください。



重要

▸コネクタの端子の向きに、充分注意してください。端子の向きを間違えると、破損します。



3 microUSB ケーブルの反対側の TypeB コネクタをキーボードに接続します。
くぼみに指をかけ microUSB コネクタキャップを開き、コネクタの端子の向きに注意して、microUSB ケーブルを接続してください。

POINT

▸本製品とスマートフォンを microUSB ケーブルで接続する場合

・本製品とスマートフォンの両方の電源をオンにし、本製品に microUSB ケーブルの TypeB のコネクタを接続します。
・スマートフォンの画面が本製品に表示されない場合は、いったんどちらかの microUSB コネクタを外して、接続し直してください。

5. トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。
それでも問題が解決できない場合は、ご購入元にご連絡ください。

よくあるトラブルと解決方法

■起動／終了時

現象・質問	対処・回答
電源ボタンを押しても、本製品が起動しないことがある。	バッテリーパックの残量が 0%の状態になっている可能性があります。 バッテリーパックをバッテリーチャージャーへ取り付け、充電が完了したことを確認してからご使用ください。 また日時の設定がリセットされた場合は、「HMD ホーム」画面で「設定」→「その他の設定」→「日付と時刻」で日時を設定してください。 また、本製品とスマートフォンを Miracast で接続すると、本製品のシステム時刻は、スマートフォンで設定されている時刻に同期されます。
使用中に、突然電源が切れることがある。	バッテリーパックの残量が 0%になった可能性があります。 充電のうえ、ご使用ください。
本製品を約1年以上使用せずにいたら、充電できなくなった。	本製品を長期間ご使用にならない場合でも、バッテリーパックは数ヶ月に一度充電してください。万一、充電ができなくなった場合は、バッテリーパックを交換してください。

■画面

現象・質問	対処・回答
画面が薄暗く、よく見えない。	画面の明るさを調整してください。詳しくは、「画面の明るさ設定」（→ P.46）をご覧ください。
画面が回転してしまう。	右目左目切替が自動に設定されています。詳しくは、「ディスプレイを見る目を設定する」（→ P.38）をご覧ください。

■操作

現象・質問	対処・回答
本製品が応答しなくなった。	再起動してください。
	次の操作を行ってください。なお、この操作は本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。保存されていないデータが消失します。 1. 電源ボタンを約 13 秒以上押し続けます。 　約 13 秒で強制的に電源が切れますが、そのまま押し続けてください。 2. 本製品に、電源が再度入ったら手を離します。
電源を入れ直しても、トラブルが解消しない。	アプリをインストールしてからこの問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリに問題がある可能性があります。アプリをアンインストールしてください。 アンインストールは、「HMD ホーム」画面で「設定」→「その他の設定」→「アプリ」→（アンインストールしたいアプリ名）→「アンインストール」→「OK」にて行います。
	ケーブル類を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続したケーブル類に問題がある可能性があります。ケーブル類を取り外してください。
	上記の操作を行っても解決できない場合は、次のようにご購入時の状態に戻す操作（初期化）を行ってください。 「HMD ホーム」画面で「設定」→「その他の設定」→「バックアップとリセット」→「データの初期化」を選択し、画面の指示に従ってください。 ご購入時の状態に戻すと、インストールしたアプリや各種の設定内容は、すべて消失しますので、ご注意ください。

■ その他

現象・質問	対処・回答
本製品に飲み物をこぼしてしまった。	飲み物など液体がこぼれて本製品内部に入ると、感電、本製品の故障などのおそれがあります。もし、液体が本製品内部に入ったときは、ただちに電源を切り、バッテリーパックやケーブル類を取り外して、ご購入元にお問い合わせください。
異常なにおいや過熱に気がついた。	本製品の故障のおそれがあります。本製品の電源を切り、バッテリーパックを抜いて、本製品からケーブルを取り外し、ご購入元にお問い合わせください。なお、お問い合わせ時には次のことを伝えてください。 ・ 使用している機器の名称 ・ 購入年月日 ・ 現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

ハードウェアに関する Q & A

■ 本体

現象・質問	対処・回答
データの初期化時に注意することはありますか？	初期化時の中断を防ぐため、必ず満充電のバッテリーパックをご使用ください。

■ キーボード

現象・質問	対処・回答
キーボードが認識されない。	キーボードの電源がオンになっているか（【電源】キーを短押しし、Bluetooth/ 電源ランプが点灯するか）ご確認ください。キーボードの電源がオフになっている場合は、【電源】キーを長押しし、キーボードの電源をオンにしてください。
キーボードが認識されない（Bluetooth 接続）。	キーボードの電源を一度切り、再度電源を入れてください。
	次の手順で、スマートフォンのキーボードのペアを解除した後、「本製品とスマートフォンの接続（Bluetooth）」（→ P.40）をご覧になり、再度接続を行ってください。 1. スマートフォンのホーム画面で、⋯→「設定」→「Bluetooth」を順にタップします。 2.Bluetooth項目からキーボードを探し、そのキーボード名の右側にあるアイコンをタップします。 3.「ペアを解除」をタップします。
	次の手順で、スマートフォンの Bluetooth の「ON」、「OFF」を切り替えてください。 1. スマートフォンのホーム画面で、⋯→「設定」→「Bluetooth」を順にタップします。 2.「Bluetooth」の「ON」、「OFF」を切り替えます。 「ON」の場合は、一度「OFF」にし、再度「ON」にしてください。 「OFF」の場合は、「ON」にしてください。 詳しくは、「本製品とスマートフォンの接続（Bluetooth）」（→ P.40）をご覧ください。
キーボードが認識されない（microUSB ケーブル接続）。	本製品とキーボードを microUSB ケーブルで接続する場合、キーボードに microUSB ケーブルの TypeB のコネクタが接続されているかご確認ください。 microUSB ケーブルを逆に接続すると、キーボードが認識されません。 「microUSB ケーブルを接続する」（→ P.51）をご覧になり、正しく microUSB ケーブルを接続してください。
キーボードに電源が入らない。	キーボードから microUSB ケーブルを取り外してください。 乾電池を抜き差しし、再度キーボードの電源を入れてください。
	新しい乾電池に交換してください。
乾電池を1本だけ新品にしたが、キーボードに電源が入らない。	1 本だけ新品にしても、2 本での乾電池残量が不足しているため、電源が入りません。 2 本とも、新品の乾電池に交換してください。

■外部メモリ

現象・質問	対処・回答
microSD カードを取り外すときに注意することはありますか？	次の手順で、必ずマウントの解除を行ってください。 「HMD ホーム」画面で 「設定」→「その他の設定」→「ストレージ」→「SD カードのマウント解除」

通信に関する Q & A

現象・質問	対処・回答
電話機能はありますか？	ありません。
3G などのデータ通信機能はありますか？	ありません。
テザリングは使用できますか？	使用できません。
ルート CA 証明書の追加インストールはできますか？	追加でルート CA 証明書が必要な場合は microSD カードよりインストールをしてください。
プロキシサーバーの利用はできますか？	利用できます。Wi-Fi の設定時に、「詳細オプションを表示」をタップしてチェックを付け、プロキシサーバーの設定を行います。
無線 LAN アクセスポイントへの接続方法を教えてください。	「HMD ホーム」画面で 「設定」→「その他の設定」→「Wi-Fi」にて設定してください。

その他の Q & A

現象・質問	対処・回答
Miracast がつながらない。	「HMD ホーム」画面が「ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ / ﾀﾌﾞﾚｯﾄからの接続を待っています」という表示になっていることを確認してください。異なる画面の場合は、表示されている画面の指示に従ってください。
	スマートフォンのディスプレイ設定（Miracast）にて表示されているデバイス名が、本製品の「HMD ホーム」画面に表示されているものと同じかどうか確認してください。
	次の点を確認してください。 ・ 本製品の Wi-Fi が ON になっているか ・ スマートフォンのアクセスポイントにつながっているか
	次の操作を行ってください。 ・ 本製品の電源を切り、一度バッテリーパックを取り出します。再度バッテリーパックを取り付け、本製品の電源を入れます。 ・ スマートフォンを再起動します。 ・ 本製品とスマートフォンの両方を再設定します。
カメラの映像がスマートフォンに映らない。	スマートフォンでSPWiFiCameraServiceが立ち上がっていることをステータエリアにて確認してください。
	次の操作を行ってください。 ・ 本製品を再起動します。 ・ スマートフォンを再起動します。 ・ 本製品とスマートフォンの両方を再設定します。

お手入れ

乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。

重要

- 拭き取るときは、内部に水が入らないよう充分に注意してください。
- シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。損傷する原因となります。

■ディスプレイ／カメラ

つめや指輪などで傷を付けないように注意しながら、乾いた柔らかい布か眼鏡拭きを使って軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。

重要

- ディスプレイやカメラの表面を固いものでこすったり、強く押し付けたりしないでください。ディスプレイやカメラが破損するおそれがあります。
- 化学ぞうきんや市販のクリーナーを使うと、成分によっては、画面表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは使わないでください。
  ·界面活性剤を含んだもの
  ·シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  ·研磨剤を含むもの
- ディスプレイやカメラの表面を激しくこすると、静電気が発生することがあります。ご注意ください。

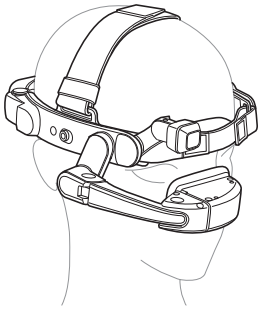
廃棄について

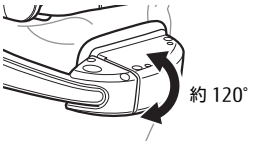
本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
また、本製品はバッテリーパックや乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。
本製品の廃棄については、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」（http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/）をご覧ください。

6. 付録

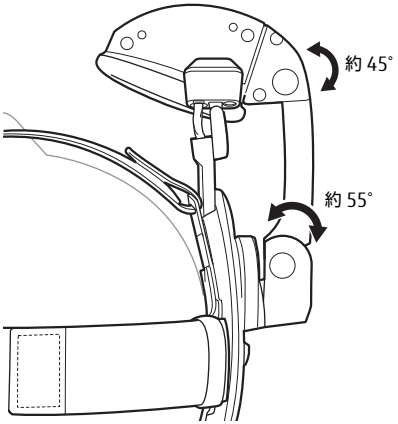
ディスプレイの可動領域

次の範囲で動かすことができます。

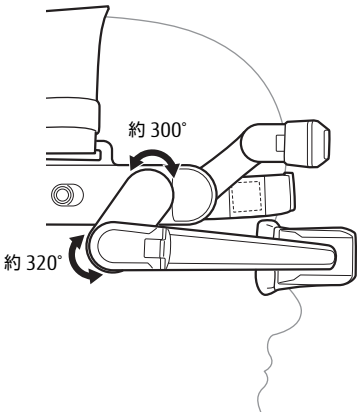




（ディスプレイ部分）



（上から見た図）

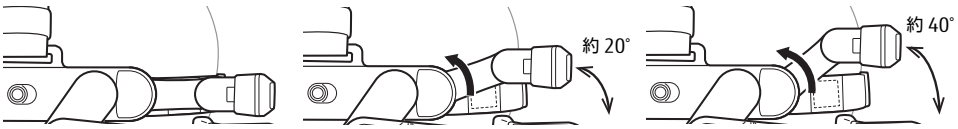


（横から見た図）

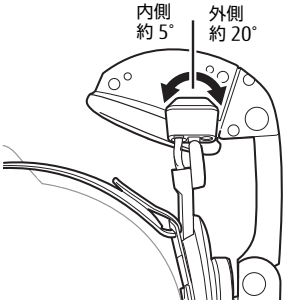
カメラの可動領域

■ カメラのアーム部

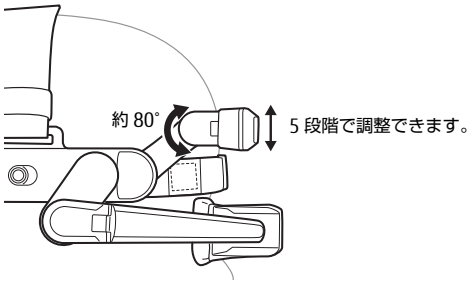
カメラの高さの位置を 3 段階（約 0˚、約 20˚、約 40˚）で調整できます。



■カメラの先端



（上から見た図）

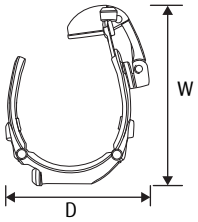


（横から見た図）

仕様一覧

■ヘッドマウントディスプレイ

品名		ヘッドマウントディスプレイ
OS		Android4.4.4
CPU		1.2GHz Quad Core CPU（APQ8026）
内蔵メモリ（RAM/ROM）		2GB/8GB
表示機能	サイズ	0.4 インチ
	仮想画面サイズ	11 インチ（仮想視聴距離 609.6mm）
	解像度	854×480（FWVGA）
	表示色数	24bit カラー（約 1677 万色）
	視度調整	+1 ～ -2D
	輝度（最小～最大）	10 ～ 1200cd/m^2
	目からの距離	30.8mm
オーディオ機能	スピーカー	モノラルスピーカー
	マイク	内蔵マイク（音声コマンド対応）
カメラ		有効画素数約 810 万画素（記録画素数約 800 万画素）
通信機能	無線 LAN	IEEE 802.11a/b/g/n（single）、2.4GHz/5GHz
	Bluetooth	Bluetooth V3.0 準拠
インターフェース	microSD カードスロット	×1 スロット
	イヤホン接続端子	φ3.5mm イヤホンジャック ×1
	microUSB コネクタ	×1（TypeAB）
堅牢性	防水・防塵	IPX5/IPX7、IP5X
電源供給方式	バッテリーパック	リチウムイオン 3300mAh
バッテリー駆動時間（WiFi Miracast 接続状態で動作するアプリを使用した場合）		約 4 時間[注 1]
温湿度条件		温度 5 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%RH（動作時） （ただし、動作時結露しないこと）
耐薬品		対応薬品（エタノール、IPA、次亜塩素酸ナトリウム）[注 2]

品名	ヘッドマウントディスプレイ
外形寸法（W×D×H）（突起部含まず） （形状が可変のため参考値） 	・最小（アーム縮小時） W×D×H ＝約 290mm× 約 180mm× 約 60mm ・最大（アーム伸長時） W×D×H ＝約 400mm× 約 350mm× 約 37mm
質量	・本体：約 315g ・フィッティングベルト：約 70g ・ローレットネジ：約 4g（4 個分） ・ディスプレイクッション：約 4g ・ヘルメット装着クリップ：約 45g（2 個分）

注 1 ： 当社測定基準によります。ご使用により異なる場合があります。

注 2 ： 除菌シートによる拭き取りを想定した耐薬品性能です。
薬品による無変色・無塗装はがれ・無変形等を保証するものではありません。

■キーボード

品名		ウェアラブルキーボード
接続方式		Bluetooth 無線方式、microUSB 有線方式
通信機能	Bluetooth	Bluetooth V3.0 準拠（HID）
インターフェース	microUSB	×1（TypeB）
堅牢性	防水・防塵	IPX5/IPX7、IP5X
電源供給方式	単 4 アルカリ乾電池	×2
バッテリー駆動時間（アルカリ乾電池使用）		約 5ヶ月[注]
外形寸法（W×D×H）（突起部含まず）		135mm×68mm×20mm
質量		約 95g（乾電池含む、キーボードベルト含まず） キーボードベルト：約 26g

注 ： 当社測定基準によります。ご使用により異なる場合があります。

■バッテリーチャージャー

品名	バッテリーチャージャー
電源供給方式	添付のACアダプタ、microUSBタイプのACアダプタやパソコンなど
外形寸法（W×D×H）	75mm×100mm×47.2mm（ゴム足含まず）
質量	約 105g

オープンソースソフトウェア

●本製品には、Apache License V2.0 に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。

●本製品には、GNU General Public License （GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、「HMD ホーム」画面で 「設定」→「その他の設定」→「端末情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」をご覧ください。

●オープンソースソフトウェアに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳しくは下記サイトをご覧ください。
http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/download/develop/

ヘッドマウントディスプレイ（FHMD001）
取扱説明書
B6FY-2931-01-00
発 行 日：2015 年 4 月
発行責任：富士通株式会社
〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収･リサイクルにお出しください。

㋐1504-1

B6FY-2931-01